京城日報

十一日夕刊

發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社

動亂の支那

▲段軍朝陽門奪取

八日午前四時攻撃軍は張勳氏の占領せる朝陽門を奪取せり（北京特電）

▲爆彈投下中止交渉

飛行機上よりの爆彈投下に就き林公使は段軍側に對し之れが中止方を交渉したりと（北京電報）

▲復辟愈取消　宣統帝批准す

八日王士珍、江朝宗兩氏は宣統帝に謁し段祺瑞氏より信書を以て優待條件を依然繼續するが故に速に復辟を取消す可く要求し來れる旨上奏し宣統帝は之に批准したるを以て同夜此の旨各省に通電し十日正式に發表する事となれり段派の言に依れば張勳部下は降伏する事に既に内約成り居れるを以て此上擾亂の虞はなかるべしと段祺瑞氏は多分十日來着の筈なり（北京特電）

▲復辟取消の上諭出でん

十日を以て復辟を取消し中華民國恢復の上諭出でん（北京電報）

▲清室優待條件存續　段祺瑞氏の言明

段祺瑞氏曰く宣統帝退位せば清室の優待條件は依然として渝ることなきも定武軍の武裝解除は必然的に實行せざるべからず（北京電報）

▲段軍我軍用電線切斷

段軍は八日豐臺南方に於ける日本軍用電線を切斷したるを以て日本兵は直に急行し之が修理に著手したるが段兵は之に防害を加へたり（北京特電）

▲唯最後の一戰あるのみ

張勳氏は七日夜左右の者の英國公使館に保護を求めりと聞き之れ余を侮辱するものなり余老ひたりとも未だ他の憐みを乞ふ程耄碌せず已むを得ずんば最後の一戰あるのみと豪語せり（北京特電）

▲徐州會議内容公表か　張勳氏敎圍く

張勳氏は今や昨年開かれたる第一回徐州會議の内容を公表せんと敎圍きつゝあり同會議にて馮國璋、段祺瑞、梁啓超、徐世昌諸氏は復辟に贊成せしと（上海特電）

▲駐支公使團の通告

駐支七箇國の公使は時局の前途猶暗澹たるを以て此れが善後策講究の爲め會議を開き協議の結果徐世昌氏に對し調停方を通告せり（北京電報）

▲宣統帝北京遁逃說

宣統帝は張河口に遁れたりとの風說あり（北京電報）

▲張勳氏も亦脫走か

張勳氏も亦八日北京を脫走したりとの風說あり（北京特電）

▲我公使康有爲保護

康有爲氏は七日帝國公使館に來り一身の保護を依賴せるを以て林公使は國際の通義に照し收容保護中なり（北京特電）

▲徐氏臨時大總統說

徐世昌氏は入京の上臨時大總統となるべしとの說あり（北京電報）

◎北京政局公電

其一（九日北京發北勤著電）

八日王士珍及江朝宗は宣統皇帝に對して此際退位し中華民國を維持すべきを勸告したる結果之に關する上諭を發する筈なり又定武軍は武裝を解除し北京より他に移轉せしめ其他は追窮せざる事にして張勳部下の各統領等は已に之を承諾せり張勳は未だ承諾するに至らざるも彼は已に其權威を失墜し其部下を統御するの能力なきに至り段は多分十日北京に入るべきならん狀況斯くの如くなるを以て北京は兵亂を惹起するの虞れは最早やなかるべし

其二（同上）

京奉鐵道は八日午後より急行列車に限り運轉を開始せり

步軍統領江朝宗は其家族を某國公使館に保護せられ度き旨申出でたるを以て此の如き狀態にては甚だ不安なりとて某國公使より此際徐世昌に勸告し出て、時局を收拾せしむる爲め各國公使會議を開く事を申出で同會議の結果段を經て徐に勸告する事と爲れり然るに張勳の態度は又々強硬と爲り自己一身の辭職は勿論軍隊の武裝解除は之を辭せざるも復辟は是非とも之を維持せざるべからずと主張しつゝあり徐世昌は馮國璋已に大總統の職務を執れり又段祺瑞國務總理となり復辟實行者と武力を以て相對抗しつゝある際其渦中に投ずることは之を爲さゞるべく又徐出づるとするも徐の溫厚なる性格を以てしては武力なくして到底其の解決の見込なかるべし從つて前途依然として混沌たり

◎花房子爵薨去

樞密顧問官從二位勳一等子爵花房義質氏は九日午後四時胃腸病にて薨去せり畏き邊りの御思召に依りて正二位に陞叙旭日大綬章を賜へり（東京特電）

◎商船寄航廢止問題　依然續行す

大阪商船會社にては船腹調節の爲め朝鮮各諸港へ寄港廢止の議出でしも命令航路たるの關係上廢止は實行困難なるを以て依然續行すと（大阪特電）

◎政務總監招待

山縣政務總監は十日午後七時より入京中の杉檢査官並に市山關口兩書記を主賓とし花月に於て張宴し荻田總務局長、[illegible]技師和田參事其他關係者列席したり尤も政務總監自身は出席せざりき

◎面制實施と發令

▲面制施行期　曩に發布せられし朝鮮面制は大正六年十月一日より施行の事に決し十一日附府令を以て公布の筈

▲面制施行規定　面制施行に關し全文五條より成る規定十一日附府令を以て公布の筈なるが右は面制施行前に於てなしたる手續其他行爲の効力並に面吏員の組織等に關し規定せるものにして十月一日より施行せらるゝ筈なり

▲面長服務規律　如上二件と同時に全文六條より成る面長及び面吏員服務規律府令として發布せらるべく是亦十月一日より實施の筈

▲面規程中改正　明治四十三年總督府令第八號面に關する規定第三條中の面長に關する手續規程並に其支給方法等改正せられ十一日附を以て公布十月一日より施行せらるゝ事となれり

◎總督請願注意

總督に對する請願は請願令第十條により總督府に宛て郵便を以て差出すべきものにして明治四十三年總督府令第五號を適用すべきものにあらず從つて請願にして地方長官を經由すべきもの又は他の官廳等に差出したるものは請願令に違反するものとして請願令第十二條により無効のものとして處理せらるべし請願をなさんと欲する者は直接總督府に文書を郵便にて送附するを要すとのことなり

◎辭令（十日附）

遞信局長官 持地六三郎　遞信事務視察の爲め全羅南北慶尚南北各道に出張を命す

元山土木出張所長 野口耕一　咸鏡北道出張を命す

勸業模範場技師 岩田次郎　蠶業視察の爲め東京京都長野愛知の各府縣に出張を命す

◎併鐵の實現期　如何

朝鮮鐵道を南滿洲鐵道會社の經營に移すべき所謂鐵道併合實現期は七月十五日よりと云ひ八月一日と稱するも未だ明確に之れを知り難きが鐵道併合の實現に伴ひ廢止せらるべき朝鮮鐵道用品資金會計法の廢止は既に下院を通過し其の貴族院の協贊も殆んど疑ひを容るゝの餘地なし唯目下問題となり居るは樞密院の鐵道併合案に對する審議未了のために同院の諮詢さへ終了すれば直ちに勅令の發布を見其の鮮滿鐵道合同經營は實行さるゝものと見るを得べし然るに十一日よりは暑中休暇に入るため[illegible]（併鐵を含む）[illegible]十日に其の本會議を經べしと[illegible]くさすれば其の諮詢を經るは暑中休暇後なるべきか若くは樞府顧問官が暑休を廢して其の審査を行ない發表を早むべきか要するに目下の所其の併鐵實現期は不明なり

◎支社か監理部か

滿鐵の鮮鐵經營機關[illegible]朝鮮鐵道[illegible]

◎併鐵影響

朝鮮[illegible]

◎前田大佐出發

既報の如く警務總監部高等警察課長前田憲兵大佐は鏡城、元山、咸興等に於ける警察事務を巡閲の爲め藤沼警視其他部員及び憲兵數名を帶同愈々十日午前九時三十分南大門驛發列車にて出張せるが來る廿八日歸任の筈

旱魃便り

黃海道にて　松本火南

○此間の大雨にて旱魃打切りの樣に思はるれど、中々そんな事でない、京釜線の水害や、漢江の氾濫や、京城の豪雨や、など新聞で見て喫驚したが一洪水位は辭せずと思ふ。此方は雨量乏しとて旱魃は依然たり。

○古老は二十年來の旱魃と云ふ、昨秋以來時に少雨の御見舞はあつても雨らしき雨は降らず、待つも春から夏にかけて海の如く水を湛ふる一面の水田も今年は乾燥し龜裂を生じて居る。到處

○黃海道の平野と云へば、載寧、信川、鳳山の諸郡に跨れる大沃野、眼界數里に亙れる大水田は今后青田相連り稻葉波を爲し見るも見事な時分であるが、今年は乾白、不毛の沃土が多い。京城方面豪雨の影響で三日の夜は徹夜珍しの甘雨、農民は蘇生の福音と雀躍したが翌日は晴れてしまつた

多少の水量を貯ふる濕地や水利の便ある僅少の水田は不足ながらも此の雨でやつと補付をすました。が之れはほんの一部、平野大部分の水田は一夜の雨位は地中に吸取られて一滴の水も止めず、農民は呆然として天を望んで居る。

○此地方昨年最終の植付に後ると既に二十五日、此頃の植付でも半作は覺束ないと稱して居るが、今に植付の出來ぬ多くの水田は全滅かも知れぬ、此一箇月來苗代も大分枯らした、水を酌み込んだり、砂をふつたり灰をまいたりして多大の勞力と經費を獻げて輕うじて取止めて居る分も運命短日に迫つて居る。降りさへすれば三分作でも二分作でも乃至稗糲でも取りたいと首を長がめて待つて居るが、此頃亦晴天續きで心元ない有樣である。

○農民の窮狀と來ては誠に慘めなるものである。素封と云はるゝ中農以上の連中はまだよいが、多數小百姓は喰ふに物なく、稼ぐに仕事なし。例年ならば青田色づくに從ひ金融動き始め農家一體に活氣を呈するのであるが本年は一厘の金も容易に融通が出來ない丈夫な者は鋤を抛て遠く鑛山の人夫や日雇稼に出かけて僅かに其日を暮らすが、老人や女小供はどうする事も出來ない、近頃困りはてゝ家を殘して何れともなく引越す連中が多いとの事で所謂水草を追うて移轉するの類である。

○此間某村の素封家に不幸があつて葬式をなすに人手が足ないので方々の村から雇ひ集めてやつと間に合はせたと云ふ話がある。此分で過ぎたなら此の先如何になるであらうか、心あるものは頗る憂慮して居る。

○洪水は防禦も出來よう、水害は復舊も出來るが旱魃と來ては何とも手のつけようがない。自分の如きも此平野に因緣淺からぬ關係があるので方々飛び廻つて居るが、妙案も妙策も出でようがなく頭痛鉢卷の體である

◎佐藤博士歸任

北鮮地方軍隊衛生狀況視察中なりし佐藤駐劄軍軍醫部長は十一日夕歸任すべし

◎杉檢査官北鮮行

杉會計檢査院檢査官は過日來鐵道局に於ける會計檢査を續行中なるが十一日を以て終了するに付十二日午前九時二十分發列車にて淸津に向ふ由

◎東滿鐵道地方課長

東滿鐵道地方課長コクシャロップ氏は五月頃より有馬溫泉にて病氣療養中の所不日朝鮮經由歸任すべし

◎古海總長招宴

古海警務總長は今十日午後七時に花月樓に軍司令部師團の幕僚並に憲兵司令部及び警務總監部の幕僚を招待せり

◎朝郵實行運賃

朝鮮郵船會社にては曩に其筋より認可せられたる沿岸命令航路新運賃の標準內に於て實行運賃を作製し其筋に認可申請中の處若干の修正を經て九日附を以て承認の指令に接したり右新運賃は十六日より實行す可し

◎京奉鐵道全通

奉天山海關間鐵道は變亂のため一時輸送を休止しゐたるが九日より運轉復舊したるに付日支連絡旅客は從來の通り取扱ひ得る事となれり

◎敎育視察團

東京荏原郡敎育視察團一行二十五名は滿洲各地の視察を終へ來鮮京城を經て十日午前五時四十分來釜市內各所を視察の上同夜出港の連絡船新羅丸にて歸途に就く筈なり（釜山）

◎高女師範生來期

東京高等女子師範學校職員生徒一行二十五名は來る十三日朝入港連絡船にて來釜市內各所視察の上同夜十一時發列車にて京城に向ふ豫定なりと（釜山）

大田

▲金久保少將晩餐會　大田步兵第七十九聯隊の第二期檢閱の爲め來田中なる大邱步兵第四十旅團長金久保少將は九日午後六時半から本町千歳旅館へ聯隊の上長官以上在留官民及び學校組合管理者等を招待して晩餐會を開きたり▲大田の現在人口　大田警察署に於て調査したる六月末人戶口數は戶數千百十七戶人口四千二百三十五人內男二千百二十七名女二千百八名なり因みに大田憲兵分隊管內人戶口數は本表外にあり▲半期牛乳搾取高　大田警察署管內に於て本年一月より六月に至る半期間の牛乳搾取高は[illegible]搾取所六、乳牛數十四頭、搾取高十石四斗六升、販賣高十石なりと▲害鳥驅除　大田警察署管內に於ける六月中の害鳥驅除數は雀百十三羽雉十羽鳥七羽なりと▲大田部隊の夜間演習　大田步兵第七十九聯隊第三四中隊及び公州分屯第二中隊の三箇中隊は八日午前より大田市外白雲洞附近に於て戰鬪敎練をなし引續き柳川面新坪附近に於て終夜前哨夜間勤務を爲したり因みに公州分屯第二中隊は七日午前三時公州發儒城街道を經て來田し演習後歸隊せり▲亞鉛鑛試掘　京城佐々木正之氏より豫ねて其筋へ許可申請中なりし大田市外山內面上所里に於ける鑛區二十二萬二千八百七十三坪の銅及び亞鉛鑛試掘は六月十一日附許可となりたるを以て六月十九日より愈々試掘に着手したりと

鳥致院

▲上林長官去來　上林忠南道長官は曩に湖南線方面水害視察の爲め出張中なりしが八日大田發全義方面水害實地視察の爲め山本土木主任を從て出張午後七時鳥致院着列車にて下車直に鳥致院附近を視察し驛前明治旅館に投宿九日午前九時發自動車にて歸任せり▲自動車開通　去三日の水害の爲め道路橋梁破損流失等の爲め自動車運轉を中止しつゝありし公鳥間自動車は當局の鋭意之れが復舊に急ぎたる結果八日午後九時より開通を見るに至れり一方忠北淸州行自動車の運轉開始期は今尙ほ不明なり▲臨時大掃除施行　昨年の虎疫流行及び本年の出水にて糞芥の放出井水の泥濁等にて一般衛生狀態憂慮に絶へざるものあるにより鳥致院憲兵分遣所にては近々日を定め臨時大淸潔法を施行し衛生狀態の萬全を期する筈なり

群山

▲客月貿易　群山稅關支署取扱ひ六月中輸移出入重要品價額表を見るに輸移出品にては米穀十一萬七千二百三十四圓を最高とし重石鐵五萬三千圓之に亞ぎ其の他輸移出總額十七萬九千三百七十四圓にして輸移入品にては粟五萬八千三百零七圓を最高とし米穀四萬八千二百八十六圓之に亞ぎ小麥粉七千百廿六圓生金巾生シーチング六千八百四十圓金巾晒シーチング六千三百九十圓其他の移入品は五千圓以下にして輸移入總額二十三萬六千四百五十一圓に上り輸移出額に比し斯く輸移入額の增加を見たるは勿論米價の高騰[illegible]基因し滿州粟の移入米穀の逆移入等[illegible]前記數字に示すが如く輸移出に於ては在米減少の爲其輸移入の反比例に著しき減退を示したるものたりと▲郵便局長歸任　群山郵便局長大谷晋氏は會議列席の爲上京中の處六日二番列車にて歸任せり▲東亞所長歸所　東亞煙草株式會社群山販賣所長永田權二氏は葛參の爲久しく歸省中の處六日歸鮮したり▲豫防注射　群山警察署にては最近降雨の打續きたると惡疫流行季に入れるに依り前年赤痢患者發生したる附近地域の住民に對し近く赤痢豫防注射を施行すべしと

人事消息

▲マクルーア氏（米國雜誌主筆）▲ワイルド女史（同氏秘書）十日仁川へ

▲クリフテイー氏（京奉鐵道病院長）十日朝釜山へ

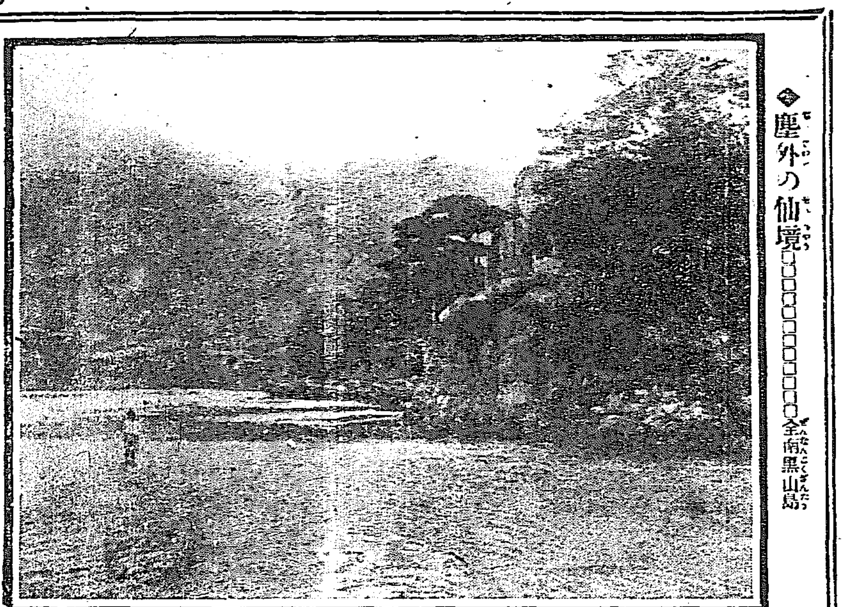
▲小樽高等商業學校職員生徒三十九名　十日仁川へ

▲島津久賢氏（成歡農業家）九日夜入京朝鮮金旅館へ

▲横田虎二郎氏（辯護士）同京城ホテルへ

▲吉植庄三氏（東拓平壤出張所長）九日夜入京不知火へ

▲栗原伊之助氏（公州憲兵隊副官憲兵中尉）[illegible]日入京都光館へ


◇塵外の仙境□□□□全南黒山島

島の巡査生活(三)

暢氣なことも暢氣だが又苦しい

◇◇◇この世からなる仙境 待たれる手紙や新聞◇◇◇

然し『住めば都』とはよく言つたもの、次第に島の生活に馴れるに從つて最初ほど寂しいとは思はなくなる否や却つて俗社會と交渉が少ないだけに、暢氣だ氣樂だ若蠅くなくて好いと思ふやうになる、この頃ならば官費で避暑に來た位に思つて

自適する氣

◆勤務の餘暇を悠々 にもなれる島生活◆

の身にとつて一番有難いのは都會と違つて風景の好いこと、黄塵萬丈の巷と違つて空氣の清らかなことである、殊に絶海の孤島ともいふべき黒山島と來たら、全く現世からなる仙境である『蓊鬱と茂つた森、清冽な流水、蜿蜒と打續いた長汀白砂など多島海の一角にも、こんな好い處があるかと思ふほど、左様に幽邃で明媚である、同じ島詰めでもこんな好い島に廻はされたものは、眞個に鐵運の好い方だ、その他の島は黒山島に較べると稍や

雄大の風光

◆落ちるが僻その は島生活の慰藉◆

を慰するに充分である『泰山に上りて天下を小とす』とは唐人の氣焔だが、風光が人の思想感情の上に影響することは非常なもので、常に斯した明媚な自然に圍繞されてゐる駐在巡査は不知不識の裡に高尚な思想感情を培はれて行くとやら、尤もこれは皆然うだといふ斷定も出來ぬけれど又決して滑稽無稽な説ばかりでもないらしい

肉身の若や

◆島生活での樂みは 友人からの音信に◆

接することだこれは恰度戰地にある軍人が内地からの郵便を待ち焦がれるのと同じ心持ちで、便船毎に自ら濱へ驅付けて、何よりも眞先に手紙を受取る、本署から來たもの、親しい友人から來たもの、肉身から來たものと種々ある奴を、直ぐ封も切らないで、偖てドンな事が書いてあるだらう、アレかコレかと樂しい想像に耽りながら持つて歸り持て歸つてから始めて讀むと云ふ風、誠に以つて邪氣もないものだが、蓋し

王侯宰相こ

◆この間の樂しみは 雖も到底味ふこと◆

は出來まい、假令二三通の信書でもこれだから、若し一通もないなど、來たら、その失望落膽は傍の見る目も寧ろ氣の毒な位である、手紙に次いで彼等を喜ばせるものは新聞や雜誌の類、便船の關係で何日分も溜つて來る奴を閑に任せて片ッ端から讀んで了ふ、支那の復辟も動亂も多くはこの時始めて知つて驚く位だが驚いた時にはモウ支那が又畜の共和にデングリ返つて居るといふ有様、けれどもそんな事は無論分らず、一人でヤレ張勳が何うの段祺瑞が斯うのと、力瘤を入れてゐるから可笑しい

●中央セメント會社取締役の收監

中央セメント株式會社取締役副岡山商業會議所會頭岡本萬四郎は三通信社長等事件に關連し九日夜詐欺商法違反に問はれ大阪監獄に收監されたり(大阪特電)

●大阪市役所吏員に米代補助

物價騰貴の結果月給取りの生活難甚だしく會社に依りては幾分の昇級を行ひ居りしが大阪市役所にては七月分の月給より從業員に米代の補助を爲す事に決定せり(大阪特電)

●農民を喜ばせた千金の雨

當分降り續づくかも知れない

陰鬱な雨から漸く明るみへ出たやうに二三日御天氣になると耐ら難い炎熱が襲つて來る風死して軒の風鈴も動かないと思つて居ると九日頃から漠々として起る雲の峯蒸し返す様な暑さにアカシヤの並木も乃至はポプラの梢も再び萎れ返つて白い塵芥が行人の眼を塞ぐ様に

▼一陣の風を 呼んだが十日の朝からポツリ〳〵と涼しい雨が降つて來た稻は大部分移植を終つては居るけれども京城附近は爾來雨量が尠かつたので今度の雨も農家には喜ばれる事であらう測候所の觀測によれば今朝未明黄海の東即ち仁川沖に副低氣壓が發生して七百五十四粍を示しそして

▼主低氣壓は 山東省方面及び渤海島附近にあつた譯である之れに對する高氣壓は九日以來太平洋八丈島方面に在つてあまり優勢でも無いから此の雨は案外續くかも知れない降雨の區域は昨日位から北滿洲及び北鮮の一部と釜山木浦附近即ち玄海方面に現象を呈してゐる

▼少雨を見て ゐる模様で朝鮮中部地方には九日は全く降雨なく十日午前九時半頃から降り出したのであるそして午後二時頃迄の雨量は約十一粍位で京畿道附近には所に由り意外の豪雨を齎らすかも知れないと云ふて居る

◇中元の贈答品◇

△何が好いか

◇◇◇◇洋酒類その他の飲料水の色々◇◇◇◇

中流以上の家庭間に於ける中元贈答品としては近年洋酒類が最も用ひられてゐる、箱に入れてリボンなどで裝飾を施したものは體裁の好いものである

△殊に朝鮮は 内地に比べるとその價格が廉いだけに廣く用ひられるものであらうとも思はれる、ウヰスキーは、二圓乃至三圓二十五錢位である、ブランデー佛國製のもので一圓以上十五圓まで位、葡萄酒は佛國産のもので一壜一圓五十錢位から四圓五十錢位までが普通になつてゐる、箱に入れると

△二本取合せ で三圓内外から三本六本などがあり籠詰にする場合もある、その外ペルモット、キュラソー、ペパーミント、リキュール、コニヤクなど種々あるが、四五圓出せば贈答品としては十分のものが調へられる、それから普通の飲料水としてはビールシトロン、サイダーなどもよく

△ビールでは キリンで各一打、大瓶三圓、小瓶一圓八十五錢、生ビール三圓二十錢サッポロビールには各一打で大瓶三圓、小瓶二圓で大日本麥酒の發賣にかゝるシトロンは一圓五十錢で何れも化粧箱入のものなどは進物用として恰好なものである、それから甘黨の方では西洋菓子類なども好い贈り物であらう

●日本醫師百名派遣

十班に分ちて近日羅馬尼へ

羅馬尼に對し日本醫師百名派遣の事は當局にて詮衡中の處いよ〳〵決定し近日人選を行ひ十班に分ちて派遣す可し(東京特電)

♣美しい朝顏の花を咲かせて御覽なさい

◆南山の幼稚園は十日からいよ〳〵夏休み◆

南山の幼稚園では十日から九月の十日まで夏休みをする事になつた、それに就いて幼稚園では百三十五人の子供たちを集めて休み中はお父様、お母様の言ふ事を聞く事、悪戯らをせぬ事、水を飲んだり夜更しをせぬ事などいろ〳〵先生のお話があり、それから先生たちの丹精で先達て中から作られた朝顏の鉢を一人一人に渡して休暇中朝起たら水をやつて可愛がつて育て、綺麗な花を咲して御覽なさいと言はれて皆は喜んで歸つた、それから休み中は十日目毎に幼稚園に行つて先生のお話を聽くとの事である

●港の口が開く

慶北盈德郡江口港は通日來早天續きにて河水少なく[illegible]

て水量頓に減み砂堤の中央突堤際より約三十間と從來の川口約三十餘間との決潰に依り二條の出入口を得た[illegible]

●連絡船上陸客

九日午前九時入港さくら丸 二等客 一等(五名)中村卿、小山庄三、柴野武吉、飯田[illegible]

男彥、中原[illegible]、片村庄次郎、西尾保、[illegible]保作、松尾[illegible]、辻川[illegible]、横川虎峯、池田[illegible]次郎、松岡[illegible]、文栖[illegible]、澤香村、小西[illegible]、安田末市、見玉成一、同ふじ、同しづ子、奥平米吉、今井[illegible]、[illegible]

田[illegible]一、[illegible]、柿本[illegible]、[illegible]三郎、同[illegible]一、宮川五右衛門、[illegible]、岡田兵吉、秋田芳松、山崎忠[illegible]、[illegible]、同龜太郎、西村貞一、[illegible]

●異常天候報告(午前十時)

[illegible]

●不穩の行動無し

鐵道職工増給要求

鐵道局龍山工場職工中の一部分は近時物價騰貴の爲め生活難甚しきを理由とし賃金値上を當局に請願せんとしつゝあり鐵道局にては職工等の願意には十分同情し又其の理由を或る程度迄認むるも然も今日俄に多數職工の増給を行ふ事は豫算其他の關係上許容し得ず追而相當の處置を執るべき旨論示する所ありしもの、如く職工等も其の意を諒とし目下の所何等不穩等の行動はなしとの事なり

●女生徒三十四名の重輕傷

九日午後福島縣平町私立裁縫學校の二階墜落し女生徒三十四名重輕傷を負へり(大阪特電)

●燒酎に命を取らる

市内新町十七番地日鮮樓こと井上政次郎方雇人京城生れの李舜命(二〇)は九日夜自宅にて強かに燒酎を煽りゐたるが遂に泥醉の揚句其まゝ死亡したるを十日朝家人が發見して訴出でたるより檢屍の結果卒中症と判明し屍體は主人に引渡さる

●川井前代議士

岸和田の前代議士川井爲巳氏は九日夜宴會中腦溢血にて逝去せり(大阪特電)

●朝鮮獵友會設立

朝鮮獵友會は數年前より同好家に由て設立され龍山練兵場の一部を借用射的場となし時々土器打ち等をなし居たるが其後會勢次第に衰頽して振はざりしが今回更らに同好有志に由りて之れが改良方々新に獵友會組織をなさんとし九日午後六時より京城ホテルに會合打合の結果會長には舊獵友會々長三島鮮銀理事を其儘會長となし副會長には和田八千穗氏を推し評議員、幹事を副會長より指命せるが同會は新に奬忠壇に設備せし同會射的場にて毎月一回射的小集會を催ふし春秋二期には大會を開催する筈入會希望者は明治町瀧川鐵砲店内同會事務所に申込むべしと

讀者文藝

(一句に五十錢を呈す)

▲題「水車と掛けて」

○旅行と解く心は身疲れる(水廻れる)と泊る(止る)(二等) 義州 松月生

▲霧の中の遭難者と解く心は見ず(水)で死す 利川 まりや

▲邏役者の出陣と解く多くは米を搗く 仁川 忍仲

▲風呂屋と解く心は水がなくなると休まねばならぬ 京城 香海 和留

【讀者文藝】課題及び募集規定

[illegible]

懸賞募集規程

▲用紙は端書又は同形の洋紙一枚に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲締切は一週間後▲種類の號る物に限る事[illegible]

天氣

くもり 曇り

▲七月十一日(十一日午後六時迄)

商況

京城公債直取引(特電)

十日出來値	
五分利特別	九五、二〇
甲號五分	九五、一〇

深川正米特電

十日現在高	
朝鮮米	[illegible]
臺灣米	[illegible]
內地米	[illegible]

●東京期米特電

十日前場	八月限
寄付	[illegible]
高値	[illegible]
安値	[illegible]
止め	[illegible]

大阪株式

銘柄	拂込額	九日後場	十日前場
宇治川水	[illegible]	[illegible]	—
京阪電鐵	[illegible]	[illegible]	—
東洋紡績	[illegible]	[illegible]	—
合同紡績	[illegible]	[illegible]	—
鐘淵紡績	[illegible]	[illegible]	—
同上新株	[illegible]	[illegible]	—
東洋捕鯨	[illegible]	[illegible]	—
大阪商船	[illegible]	[illegible]	—
日本郵船	[illegible]	[illegible]	—
同上新株	[illegible]	[illegible]	—
堂島米穀	[illegible]	[illegible]	—
東京新株	[illegible]	[illegible]	—
大阪株式	[illegible]	[illegible]	—

大阪期米特電

十日前場	
當限寄付	[illegible]
中限寄付	[illegible]
先限寄付	二四、〇〇

下關期米特電

十日前場	當限	中限	先限
寄付	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高値	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安値	[illegible]	[illegible]	[illegible]
止め	[illegible]	[illegible]	[illegible]

雜報

●綿糸布氣強し

定期は入荷未着なりしも現物は角で十六手三百圓双女十手二百九十圓にて前日より十六手の安きに反し十手五圓高にして綿布は[illegible]十錢高の大阪市中相場[illegible]雖の狀態にあり加ふるに南洋方面より大口注文入込める模様も居れば本邦市價も到底安値は許さざるべしといふ

●鐵材更に昂騰

[illegible]民間の鐵類買上開始[illegible]約三割方暴騰[illegible]

平物十圓鐵板二十五圓高丸角物五圓

[illegible]

●鉱力板一高一低

鉱力板は過般大阪相場八十八圓より八十六圓に下り再び八十八圓に引返して持合ひしが最近更に四圓安の八十四圓を報ぜり[illegible]

新規注文困

[illegible]

●冬織物類氣配

物界は一般濟界の好調と夏枯季節の活況に加ふるに綿糸高に伴ひて秋冬の沈滯期なるべき昨今各生産地に於ける商内旺に行はれつゝあり一般に需要激増の趨勢を示し居るに拘らず製造側に於ては原料暴騰のため一般に前途を懸念して製織高を減じ居る模様あれば需給相伴はざるべく八月の取引期に入らば斯界空前の活躍を演ずるに至るべく豫想せられつゝあり而して見越取引に伴ふ昨今の冬物市價は既に昨年に比し綿紡物四割乃至五割絹物三割乃至三割分高[illegible]物界を通じて約四割方の昂騰を示し居れるが是は昨秋の如き單なる氣配の上走りに由るものに非ずして原料其他一般市場相場に比し最も堅實歩調を示せるものと見るを得べし

●洋紙天井不知

內地よりの情報によれば紙市況は本月に入ると共に手持筋の蕩盡と內外需要の增進せる爲ザラ一封度十七錢と空前の高値を示したるが市場のストック減少する一方なるより獨天井知らずの熱狂相場を呈現すべく本月二十日東京に開催さるべき製紙聯合會にて値上げ通告を發表するに至るべしと豫想され居れり

●苛性曹達の其後

苛性曹達は需要の一段落と在荷の潤澤に一時頹氣の投げ物相當に現はれしが昨今漸く之も一段落を告げしが會社側の唱へ試切商値となり市中取引は依然として二十三四圓處を維持せるのみならず仁川市場には尚値安の賣物蠢にて多少の模様ありたるものは京城より仁川にて買附ぐる方格好なりといふ

●染料は弗々

綿糸高の影響として之を原料とする鮮内の各種工產品は何れも產額減少の傾きありて之に要する染料の需要又少なからぬ影響を蒙むりつゝありしが只紺類のみは鮮盆を控へて盛んに製造を續しつゝある爲め同品染色用として近來容器需用の暴騰包裝材料の脆貧の影響多き加工染料は直接染料に比して使用不利なる爲め之等工場用は物により漸次直接染料に變遷せんとす

下關相場

▲朝鮮白米は手堅し 別に見るべき商內行はれずして市況活氣を呈するに至らざるも雖も內地米は何分產地との比較上不引合なるも手持筋の意氣込み堅く[illegible]

▲大豆は先張好況 其後の成行き[illegible]

京城正米

朝來の降雨は稍作上には尤も好影響を與ふるに相違なきも未だ植附に[illegible]

南大門の廻穀

仁川玄米	三五五叺
仁川玄米	三五五叺
仁川玄米	三五五叺
淸津蕎麥	九二叺
平澤白米	四〇叺
平澤白米	五四叺

十錢高に留れり

商週末に比し約四

[illegible]

仁川玄米三五五叺 興水蕎豆二六叺 平澤白米五二叺 沙里院栗二五叺 黄州小豆二四一叺 黄州大豆二七叺 淸津蕎二七三叺 中和粟麥二五叺 新幕小麥一三四叺 新幕黍七六叺

釜山穀物(九日)

▲正米(十錢高) 本邦大阪定期米寄入電は小卅く先二十三圓八十五錢とのの銀あり當市場買煙人は依然精米口の必需原料質にして相當白米の買往文注し來るもの、如く一齊買進みの商勢選れて市場は依然活氣付き居れり出來値は昨日に比し十錢乃至十四五錢高のものよりありたれども平均十錢高にて午前中玄米二十餘個の商內ありたり

特三〇、小豆五四

生魚市場

本日は鮮著物た初め釜山より鯛伊勢海老又元山よりは鰯等の入荷ありしも總圖著高の半數以上は仁川物にて其內元も多かりしは鯛にて鯛は之に反して少なかりし

釜山水產市場(九日)

▲入船數一百二十七隻

仁川タイ二七、元山タイ一一、サワラ一七、スズキ一五、ハモ一二、サバ八、アジ一二、イセエビ一〇、メバル一三、ニベ一〇、ホイカ一一、マス一八、石タイ一二、アナゴ二四、アサリ二、アユ六〇、フカ六、ヒラメ九、マナガツチ一〇、赤エ七

▲たひ十圓△大ふか四圓五十錢△小ふか二圓五十錢△あはび十五圓△ひらめ十一圓△たこ五圓△めばる六圓△ぐち四圓△すゝき七圓△はも六圓△二五十錢△たち一圓五十錢△雜魚五圓五十錢△合計一千〇〇九圓六十一錢也

仁川期米

▲十日前場(小變動保合)

兵庫前寄二十二錢大阪天候晴天前寄二十四圓丁度と昨止り一錢安の入電二十圓十一錢こ二錢安に寄付たるも買物多く〇八錢と押したるが押目は又物多く忽ち十八錢と上伸したるも利喰の賣出と戻り待ち賣物に夾へ再び圓頭に押して保合たるが[illegible]

▲十日前場 中限十九圓六十錢 十九錢六十錢平均值段[illegible]

錢を演出して散會 錢こ保合の裡に大混 現れ十六錢こ返し五 引際に至り手仕舞買物

▲先限[illegible]

仁川米豆取引所仲買人
今村覺次郎
仁川海岸町三丁目
電話長三三六八番

市場零聞

▲依然保合ひ 天候保合

立會前降雨となり大阪の墜らざる入電なるも寄賣勝にて二十圓十一錢と寄付きたるが賣物多く〇八錢と押し[illegible]

雨の時期後れ早魃地方は既に

[illegible]

仁川米豆取引所

十日の九月限

前場	平均値段
寄付	二十圓十一錢
止め	二十圓 五錢
高値	二十圓十八錢
安値	二十圓 八錢
出來高	五萬四千二百
一節	二十圓十二錢
二節	二十圓十五錢
三節	二十圓十二錢
四節	二十圓十一錢
五節	二十圓 五錢

賣買取組高		前日と比較
七月限	六千九百五十石	二〇、一五
八月限	三萬五千五百五十石	二〇、一三
九月限	二萬五千二百五十石	二〇、一八
後場		四高 二安 二安

▲物多く反つて押目は買

[illegible]

▲小變動激戰

[illegible]

▲雨の影響薄し

[illegible]

▲皮肉買に煽り雨を眺め

[illegible]

●精米の買物益多く大阪より內地及各地方より

[illegible]

株式會社仁川米豆取引所仲買人
全高田仲買店
仁川海岸町三丁目
●定期米買賣案內
電信略號ヤマ
一般文帶御送
用可申上候
●前金御注文は
紹介を不要候
振替三八二
電話長一〇〇
電話長一一九

仁川米豆取引所仲買人
大五仲買店
海岸町三丁目
電三〇九圓九一二

……厄に遭ひ漁船の出入不可能にて期待せし春蛸漁期も全然失敗に終らんと憂慮されたる折柄去る三日の降雨にて最早や漁船は素より發動機船も安全に出入し得る事となり地方民一般に愁眉を開き居れりと(大邱)

◉樂しい海上の實地教練

昨今の群山水産學校

本年の生徒 水揚高五百圓

群山公立簡易水産學校の近狀を聞くべく校長桑島謙三郎氏を其私宅に訪れた左は則ち其談話の要領である

水産校の近狀ですか多期は海上の實地教習が思ふやうに行はれませんので校內に在つて學課や編網の如きもの丶教授を主として行つて居りますが漁期になりましてからは殆んど海上漁業の實地教練に沒頭する譯で現に只今本校所屬船古群山丸錦江丸の二隻に職員生徒を交代乘組しめては各漁場に向ひ實地教習を續けて居りますが來る二十日頃よりは練習船二隻共狐島を根據として當分其の近海の漁撈實習を行ふ豫定になつて居ります本年度になりまして本校の生徒が漁撈實習に依り獲たる水揚高は既に五百餘圓に上り本年度末迄には

◆優に一千餘圓に 達する見込であります漁獲物は總て少量の場合には生徒として市中に販賣させる事もありますが多くは兩水産市場に委託して賣捌く事になつて居ります新漁場の發見漁撈法の研究に付ては總督府水産課に於ても熱心研究中にて去月中旬各漁場を經て水産課所屬試驗船千鳥丸に遠山技手以下乘組來り當水産學校前面附近江流に於て鰣流網の漁撈試驗をされましたが非常の好成績で僅々二日間の試驗漁撈に鰣數千尾の漁獲があつたさうで漁獲物は他の魚類と共に總て鹽漬にして支那方面輸出試驗材料に當てるそうであります五月中旬迄の雨量は皆無の狀態で稀有の旱魃でありましたために雨水の流下せなかつた爲め

◆自然潮水の逆流 は例年に比し錦江の上流に及びつゝありし關係に鰣魚は其の潮先に乘じ産卵の爲め江流深く密集し遡り來りたるもので例年は竹島附近に産卵し從つて同島附近に於て多く漁獲せらるゝを例としてありましたが本年は旱魃の爲めに鰣魚の産卵位置の移動を見ると共に漁場の移動を見たものであります斯樣に總督府水産課に於ても水産に關する諸方面の研究に努力されて全羅北道當局に於ては下村技手主任となつて常に管內水産に關する調査研究に熱心從事されますので當水産學校としても水産一般智識を生徒に敎習せしむるの外當近海に於ける新漁場の發見と漁撈法の研究に就ては職員と共に苦心考究を怠らず行つて居ります從來の本校所屬二隻の練習船にては遠く海上の漁撈實習には充分でありません爲めに道當局の承認を得まして今回發動機運航練習船一隻を建造する事になりました工費豫算は約二千圓で八月中旬迄には竣工の豫定で此の練習船の竣成の上は本校上級生を乘組して於靑島より更に五十海里の沖合に於て鰆の漁撈實習を試むる豫定になつて居ります(群山)

◉二汽船未だ消息無し

多島海の濃霧

全羅南道廳より道般の濃霧被害に關する詳報に曰く、客月二十五日夜より立罩めたる濃霧の爲め多島海航行中の汽船にして去月二十六日釜山より木浦に向ひたる天智丸同廿九日木浦より釜山に向ひたる安東丸同三十日釜山より木浦に向ひたる信濃丸大有丸並に本月一日

▲木浦より麗水 に向ひたる朝鮮汽船順天丸は孰れも豫定航海日數を經過するも到着せず之等航行汽船の安否不明に付き特に木浦と港門島との無線電信に依賴し又は巨文島及び羅老島方面に問合す等所在搜索に努めたるも遂に其の所在を詳にせず依て搜索保護方本月五日木浦警察署所屬の警備船第三鶴丸出動し靑山島所安島方面を搜索せり然るに久しく

▲濃霧に鎖され たる天候も五日に至り漸く晴れ天智丸は五日正午無事木浦に入港し乘客二十一名全部上陸せり未だ發見せざるは信濃川丸大有丸にして順天丸は三日午後二時莞島を拔錨し麗水に向ひたるが其後海上平穩なるに付遭難事故等は萬々無かるべく濃霧の爲め何れかの海上に停船し居れるものなるべしと

◎暑中の郵便局

七月十一日より九月十日迄京城郵便局郵便物配達回數一回を減じ左の通りとなれり但し小包郵便物配達回數は從來の通三回とす

配達便名		配達人郵便局出發時刻
一號便	木曜日 前	八、三〇
	其の他日 同	七、三〇
二號便	同	一〇、〇〇
三號便	後	三、〇〇
四號便	同	六、〇〇
五號便	同	九、四〇

郵便物取集回數は從來の通り通常郵便物八回小包郵便物三回となり又十一日より九月十日迄京城局左記事務取扱時間は午前八時より正午十二時迄とす

(一)郵便爲替貯金事務

(二)約束郵便承認、第三種郵便物認可、電話加入申込、名義變更、電柱電話機移轉等並に會計に關する事務

◎牛代を誤魔化す

山口縣熊毛郡麻郷村當時釜山廳洲洞居住活牛仲買業藤森友一(三〇)は兵庫縣姫路市城東町牛馬仲買業市本次郎松より昨年十一月より本年二月迄に送金し來れる活牛買入れの依託を受け次郎松より活牛代金を一千二百餘圓を橫領して賣主なる李德心に仕拂を爲さゞるより李は友一に對し嚴重なる督促をなしたるに友一は窮迫の結果一計を案じ當時次郎松の長男なる福松が綠町遊廓貸座敷七福亭の娼妓お多福こと生田むめに逆上せる際なるより友一は福松に對して言葉巧みに虛構の口實を以て一時の體面を繕ふに入用なれば直ちに返戾すべくに付一千二百圓の借用證書を作成し吳れたく若し承諾し吳れざる場合は福松は穢多の倅なることをお多福に知らすべしと脅迫し福松に該證書を認めさせ猶ほ友一は李德心と共謀し福松と直取引分くの活牛代金の中尙四百十五圓殘金ある如く詐稱し福松に之れが請求訴訟を釜山地方法院に提出したるより審理中前記の事實發覺せしため友一及び李は同法院に豫審中の所去る三日友一は詐欺、脅喝、李は橫領罪として同法院の公判に附せられたり

濤の砂

■雷管を投ぐ 滋賀縣滋賀郡下阪本町生れ左官職石津吉之助は五夜親方京都府愛宕郡當谷村服部彌一郎が賃錢を支拂はずとて頭部を斬り其の上に雷管を投げて虐殺したりと

■鬼隱亡慚死 筑前鞍手郡直方火葬場隱亡金子總吉(五四)は同町安部嘉太郎の六男亡辰巳(二ツ)の屍体より腦味噌採取の目的にて首を半燒にせし事發覺したる爲縊首せりとは大變な奴

■今年も豐稔 地方到る處豐稔豫想の聲高く降雨中一分なきため植付け良好にして滿州の如き此の上の豪雨は最早不要なりと稱せられ此の分にては豐作が何年續くや知らずと云ふ

■雨で困る 米に降雨をきを以て農民は喜び居れど、[illegible]

■鳥人飛ばん 鳥人スミス氏は十月上旬朝鮮に來り釜山鎭埋立地にて術を試みる筈

■敎育と軍隊 [illegible]

■臺灣の戰報 [illegible]

■米の代用品 [illegible]

■成金の大頭 [illegible]

■六千餘萬圓 [illegible]

■成金全盛期 [illegible]

■露國の女軍 露都にて婦女子の決死隊組織せらる司令官ボロフツエフ將軍曰く女軍にして土氣旺盛に男の兵隊より却て好成績なりとは先づ以て成功と謂はざる可からず

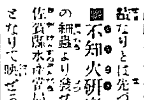
■不知火研究 九州の不知火は海中浮游の細蟲より發せる磷光ならんと稱せられしも佐賀縣水産當局は沿海細民の火光なりて映ぜる旨表し兹に千古の疑問解決

◎鎭南浦の大相撲

大刀山一行の東京角力は愈九日より二日間鎭南浦港附近の大席場にて興行八日午後六時著列車にて其乘込を見たるが驛頭には勸進元及び贔屓の外藝妓總出の出迎あり沿道は人垣を作りて其乘込を待受け活氣湧くばかりの景況にて一方角力場は百三十餘本の幟を林の如く立てたれば市中の人氣湧く

甘所

その日その日



▲瓢川燒茄子 成るべく大茄子を撰んで水に洗ひ蔕と頭部とを切り去り縱に二つに割つて肉の方を皮目を切らぬやうに縱橫に切り目を入れます(深く網目に)其上に豚の油をぬり付けて焦目がつく迄炙つた上(一度表返しても)すると下に滲せて肉の方に醬油七分に酒三分を合せて煮かへした汁を三回ほど兩面に塗り付け燒き乾かして皿に盛り枝豆を刻つた鰹節少々ふりかけて出します

◇忠南苧布

韓山苧の來歷

忠南苧布は曩に東京に於ける全都五十縣水産共進會に於ては畏くも 皇后陛下の御買上品となり又先般長谷川總督東上に際しては畏くも 聖上陛下へ獻上品の一に數へらるゝの光榮を得其の他博覽會共進會等に於て金牌受領の榮譽を荷ひたる事は既報の通りなるが目下製造業者三萬人を越ゆ其の産額年々增加して今や十七萬疋價格十七萬圓に上り其の販路は鮮內は勿論遠く內地に迄擴大せられつゝあり蓋し一地方の纖弱なる婦女子の手に依て營まるゝ家庭的副業として斯の如き絶大なるものは鮮內に於て其の右に出づるものなかるべく今回組合聯合會の調査せし趣苧の沿革を聞くに左の如し

□忠南の苧布とは 古來一般に韓山苧布と稱せられしものにして忠淸南道韓山を中心とし附近鴻山舒川林川保寧庇仁靑陽等の各地に産する苧布の代表的名稱にして慶尙の安東布咸北の北布と並び稱せらるゝものにして其の起源沿革に就ては記錄の徵すべきものなく口碑の據るべきものなく全く汗漠たるを免れずされども凡そ何れの國を問はず最初に起れる織物は野生の植物纖維を以て原料となすのみならず朝鮮に於ける綿布の起源は

□僅に五百五十年 前高麗恭愍王の朝に始まり其の以前に於ける織物は麻布苧布及び絹布に限られたるを以て忠南苧布の起源も亦必ずや太古に屬するものと斷定するを得べし而して其の韓山苧布として世に顯はるゝに至りたるは高麗朝の貢賦に始まりたるものゝ如く李朝孝宗三年大同法を湖西に施行せらるゝに至る迄は韓山苧布も亦各郡邑より上納する凡百の土貢物と共に年々王都に輸送せられ其の優美にして且高價なる品位と輕快にして而も彈力に富みて而も肌觸りに柔軟なる所とは深く宮廷縉紳の嗜好する所となり終には十三道の上流人士をして夏時韓山苧布を凉風に飄すを以て誇りと爲しむるに至れり李朝端宗の世領相鄭麟趾が舒川に於て詠せる詩に

□苧葉飄風翠浪齊 の句あるを以て考ふれば今こそ原料栽培の跡を斷ちたれ四百五六十年前に在りては苧麻の栽培も亦頗る盛にして千頃の綠苧漑浩として海の如く一路薰風の吹き渡る處恰も波浪の寄せ來るが如き觀ありしなるべく又八域誌に舒川韓山林川臨津江上宜苧と云ひ、利甲一國とあるに據れば少くとも二百五六十年前に於て既に其の名聲を

■産額が全國に冠 たるを知るべく其の史上に存する高麗忠肅王の時蔡河中が元の國に獻じたりと云ふ精巧なる紋織苧布の如き支那に年貢物として送りたる細苧布の如き又德川幕府に送使の時方物の恒例たりし白苧布の如き苟も當時韓山地方以外に之と匹敵すべき産地の存せざる限り孰れも皆韓山苧布を中心とする附近各地方の産なりしものと推斷するを得べし畢竟韓山苧布が斯の如く發達せし所以のものは或る時代

□綿布の流行に伴 ひ木棉栽培に適する他の郡は爭ふて綿布の紡織に轉じたるに拘はらず同地方の地質は木棉に適せざるが爲め獨り苧布の紡織を守り子承け孫傳へて其の技益々精巧に入れると恰も又水質が自然に苧布の漂白に適合せるとに由るものにして隨て其の産額の如きも年を逐うて增加し來り近く二十年前に於ては年々三十萬疋を下る事なかりしと云ふ(續く)

……二等(五十名)……平田幸次郎……山田音五郎、增田他人、梅山英夫、米國人ブリー……三等(二百〇五名)……九日夜入港壹岐丸一二等客 一等(一名)戸島惱太郎 二等(十八名)玄草源一郎、辻よし、堀榮之助、池……

……生ぜり此れが爲漢江流域地方に降雨あるべく所により意外の豪雨あるべき模樣なり

△俗謠 風吟 △川柳 東一 △物は付 集らぬものは……△選者 香人と掛けて……何番何號と明記に限る △宛名は京城日報……

演藝案内

大正館 櫻井町 電話八七三 七月九日より特別興行 日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 ○滑稽活劇『マーベルの勇氣』 ○新派悲劇 日活東京派花自次郎一派出演『罪の子』(全四卷)……

壽館 桃中軒雲右衛門 二代目

浪花館 明治町 電話二六〇 ▲浪界明星京山若丸、原時夢合同 ▲七月七日午後七時より開演 演題 柳生旅日記(原時夢)△東の花義經動功記(若丸)△雪の曙木傳播州皿屋敷(晴夢)……

黄金館 電話二六三七 六五二 ……

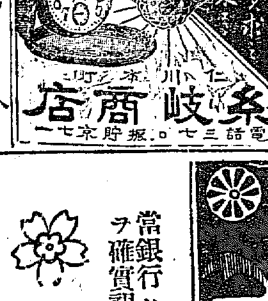
壽館 京城壽町 電話一〇五〇三 二代目桃中軒雲右衛門一行 七月九日より毎日午後六時開演 三日の讀物 ▲義烈百傑 ▲御三家三勇士 ▲開東長脇差 ▲吉良の性格 ▲惡七兵衛景清 ▲傾城情話 安兵衛の聞書 ◎入場料一等六十錢、二等四十錢、三等廿錢 軍人學生小供各半額 ▼京城日報讀者は特に割引仕候

稻荷座 本町五丁目 ○竹川馬生一行再開演 ……古代忠臣……

御成座 電話一九一一 ▲現代新派當世劇一行 ……

有樂館 早川演藝部直營 電話(階上)……

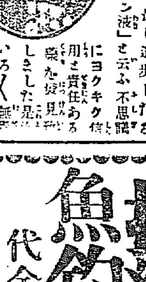
蚊帳荷著 最安時期仕入格安提供 龍山元町 こまや植西呉服店 電話四二八番

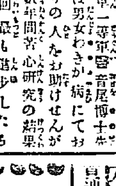


年金 恩給長期立替 五ヶ年 京城商品陳列館南之坂 大阪北濱大黑橋 湊屋代理店

萬病感應丸 急病、流行病の特效藥 目まい 立くらみ 腹いた 登錄商標 本舖 大阪 正野法橋玄三 江州 販賣店は全國有名各藥店

わきがを きらわれる人から ▲根元まで今スグ全治なさい ハガキで申込めば直に說明書無代進呈す 音尾博士新發見 陸軍一等軍醫音尾博士先生は男女わきが病にてお困りの人をお助けせんが爲數年間苦心硏究の結果今回最も進歩したる「テゼン液」と云ふ不思議に良く效く藥を發明しました……東京博愛藥院

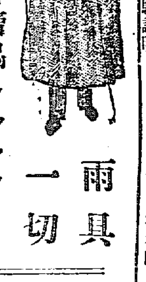




朝鮮銀行 當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候 京城 電話(圈)三三一、一〇六、(圈)三三二、一二六〇、六一三、一二六一 振替貯金口座 京城三三三番 支店 東京、大阪、神戸、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春、開原、四平街、吉林、哈爾賓、營口、傅家甸、龍井村 出張所 右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

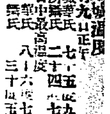
投網 魚釣具 投網四分目長二尋岩口廻十尋岩九百匁 極上等麻糸製仕揚一帖八圓 代金引換料 投網五十錢 釣具一組二十一錢 京城永樂町二丁目 吉備商會 電話三一四番 振替京城四三二八番 投網、漁釣具、柿澁、網糸卸商 御小賣共御申越次第明細相場表進呈

外科 一般花柳病科 內科 一般皮膚病科 普通及隔離病室完備 診察夜九時迄 京城旭町一丁目(本通り左に入る) 島崎病院 電話二七三六番



□柳製專賣品トランク □雨合羽防水布引マント □魔法瓶及中瓶取替 □其他旅行用具一切 雨具一切 京城本町一丁目 高木旅行用具店 電話一三四番

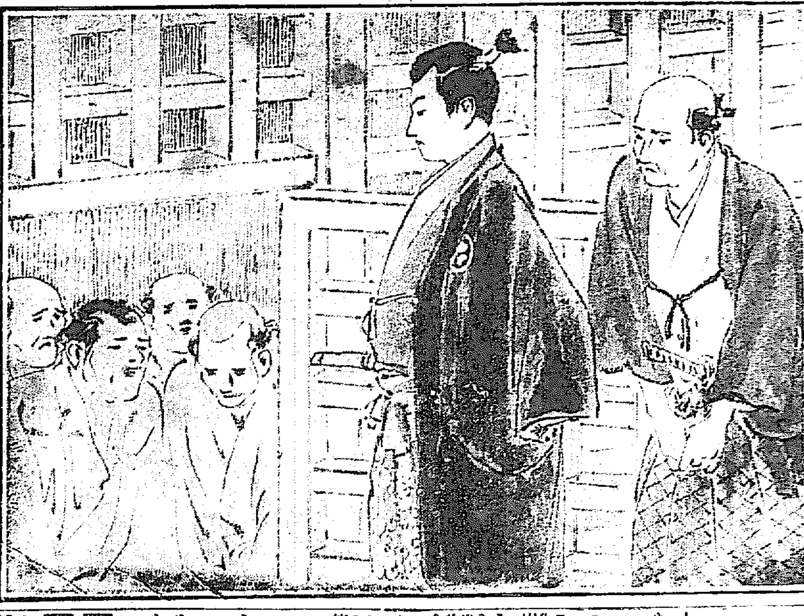
かつけに 尾崎糠精 村井弦齋先生命名實驗證明 販賣元 東京中澁谷町 尾崎兄弟商會 全國藥店に有



明君道中記

第二百二席　田邊南龍口演

松平長七郎は石原清左衛門を先に立て代官邸へお出になると白洲を立て清左衛門を呼び出し 長『コレ清左衛門、唐津屋源右衛門は何科あつて死罪に行なうのぢや 清『左様にございます彼は切支丹の信者であります 長『切支丹の信者とあらば罪につけるは國法である是には何んぞ證據があるか 清『家宅搜索をいたしましたる所彼の家より切支丹の十字架又天帝如來の畫像等がありました 長『その品は如何いたした 清『殘らず燒捨てました 長『默れ、燒捨たとは何んだ大切なる證據とあれば是より程近き京都所司代板倉周防守の許へ送ると云ふものか但しは江戸表老中の許へ送らねば相成んものであるその上にて江戸表よりの御下知を受けて所置に行なはねばならねはづ、それを猥りに燒捨るとは怪からんことである 清『恐れ乍ら常所は代官支配にございまして、手前が預りまする所、京都所司代の預る所ではございません 長『其方は口好者な事を申すが是は然うではあるまい自己の意恨を晴さん爲に罪なき源右衛門を罪に陷入れたのであらう 清『コレは思ひも寄らん事何んで左樣な事がございませう 長『然らば云つて聞かせる、其方倅清三郎とか申す者源右衛門の娘に戀慕いたして是を申し受けんとなしたる所源右衛門親子がその燒捨を斷はつた故その遺恨にて源右衛門を殺さんといたしたに相違あるまい 清『ツーム 長『其方は知るまいと思ふが長七郎は宜く存じ居る何うぢや恐れ入つたか 清『恐れ入りました何うしてそれを御存知でございまするか仰せの通り倅の戀が叶ひませぬ故その恨みを晴さんと、斯くは計りましたに相違ございません、何卒御免し下さるやう願ひまする 長『イヤ免せとあらば免し遣はす然らば源右衛門儀は助け遣はしても宜いであらう 清『結構でございます只何事も此の事は內分に願ひ度ございます 長『源右衛門さへ助け遣はせば外の事は忘れ遣はす 清『有難き仕合せにござりまする安心をしてそれより酒肴を取り揃へ長七郎へ差上げる暫く酒を召し上つて居た長七郎 長『コレ〳〵清左衛門當邸內にも牢はあるか 清『ございます 長『囚人は居るか 清『六七人の囚人が居りまする 長『牢屋を見たいから案內をいたせ 清『へ、ッ』是から長七郎獄屋を御見物と云ふので清左衛門に案內をさせて御見廻りなさると牢の中に居りまする囚人何れも蒼白たる顏色をして居る長七郎此を見て牢の戶を排かせ 長『コレ〳〵その方は何と申す 〇『ヘエ私は兼吉と申します 長『何を惡い事をして牢へ來たのだ 兼『ヘエー姦通でございます 長『姦通をしたのか 兼『されましたので 長『其の利ぬ奴ぢやな 兼『私が留守中に女房と隣の利八と云ふ者と姦通をして居りまして、一緒に酒を飲んで居りまする所を見たから、私も忍耐は出來ませんで 長『然う云ふ所を見屆けては忍耐は出來まい 兼『ヘエ私も男で女房を取られては男が立ちませんと思ひ、一層二人打斬つて遣らうと思つて刀を拔いて飛び込みました、すると反對に利八の爲に取つて押へられ刃物三昧をしたと云ふので遂々牢へ送られましたので 長『それは可哀想な奴だ、今牢を拂つて出して遣すから安心をしろ 兼『有難うございます 長『その次に居る男、貴樣は何をして來たのだ 男『私は賭(?)金使で 長『何に賭金使ひ、餘程使つたか 〇『ヘエー五六百兩遣らへました 長『皆使つたか 男『その中を一分使つて捕まつてしまひました 長『イヤ意生地のない奴だ其方も出して遣る 男『ヘエ、有難うございます』樣う云ふわけで罪の次第を訊ねましたが清左衛門に申し附け七八名の囚人を殘らず牢から出してお遣しになりました



牛乳 新鮮 朝鮮 病院 ホテル 御用
京城東四軒町 岡野牧場 電話一〇六九番

七月十二日

舊五月廿四日乙卯　本命三碧　東　定　佛滅

▲三碧● 浮沈流評多き日新事見合ひ坤の方は吉 暗劍東▲四綠● 縁談媒介ひよき日轉居開業入學名弘求職金件普請婚禮發子女を迎ろ等萬吉▲五黃● 曖昧の事有る日新事手控ゑ事は吉保證調印等せぬがよし▲六白● 迂闊々々すること有る日新事手控ゑ事は吉買物に用心せらるべし▲七赤● 引のつかぬ事有る日新事手控ゑ事悲歎に妨なし▲八白● 一寸閉口すること有る日新事手控事は吉一切のせわ事を禁ず▲九紫● 理想成就の日轉居入學求職名弘金件出逢婚禮貴金屬藥等皆吉▲一白● 順潮の日轉居入門求職名弘家作金件嫁娶取入組の和を計る等萬吉▲二黑● 向ふ見ずの事有る日新事手控ゑ事は吉一切の賭事せぬがよし

○中元の贈答品は何がよい
最も廉價で體裁よく(?)
◎砂糖桶詰 ◎同箱詰 ◎同袋入 ◎立派香茗(箱入) ◎コーヒー入角砂糖 ◎角砂糖鑵入
千利堂
南大門通 電話一七一〇 本町支店 電話一九三〇

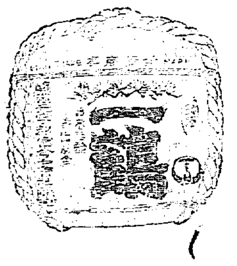
御贈答 鞄 旅行 ... 用品
內田靴鞄問屋 京城本町 東京芝區 京都伏見町
電話新一五一五 振替東京一七八一七

質 京城黃金町二丁目入(永樂町停留所北) 堀佐營業所 電話六三九番

りん病 ばい毒
本藥は殺菌力强大にして患部の副作用なく急性慢性の病及び各期梅毒等に急速に有效なる目的を達す
一週分 梅毒特製 麻病特製
京城永樂町二丁目交番北 東京ドラッグ商會

吸入瓦斯機買入
十馬力乃至十五馬力の吸入瓦斯機(中古)一臺買入れ度し放賣希望の方は御通知を乞ふ
忠南大田 大田皮革株式會社內 本間巽

資本金五百萬圓 頭取 安田善三郎
株式會社百三十銀行京城支店
京城本町一丁目 電話 ...
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地に有之候

優等清酒

發賣元 本莊酒店 京城黃金町二丁目 電話 ...

內科 胃腸病 石川醫院 京城本町一丁目 電話 ...

心臟脚氣 特効藥 ペリベチン
特約店 キムラ藥房

品質第一 誠實第一 賣行第一
キッコーリウ 最上醬油
釀造元 仁川港 日本醬油株式會社
京城出張所 京城大平通二丁目 電話二四五番

最上の齒磨を求むる衞生家は
ライオン煉齒磨
ライオン水齒磨
を使はるべし。
その比類なき品質は……
必ず……
衞生的滿足と趣味的滿足とを併せ與へらるゝことを信ず
ライオン齒磨本舖 東京本所區 小林富次郎 大阪支店
(800-6)

京城日報

第三版

七月十一日
(夕刊と合せて八頁)

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金[illegible]五十五錢 郵税一ヶ月[illegible] [illegible]

廣告料 [illegible]

京城太平通一丁目
發行所 合資會社 京城日報社
發行兼編輯人 奥田直之介
印刷人 小川三之介
電話番號 [illegible]

下關期米相場
十日後場(明、高値顯季脛されし)

▲十日後場 兵庫後寄二十三圓八十五錢 東京二十四圓十錢 大阪前止二十四圓十一錢 後寄十四錢と新高値の入荷にし當地期米中十九圓六十二錢[illegible]二十錢と新高値に寄付きたるが⊕[illegible]⊖其他より利喰に新規に賣物多く十五錢と押したるも尙⊕其他より頭れに新規に買物多く二十錢と跳ね返し十七錢と散會を告げたり 市況は高値保合の儘伸びんとして伸びず押さんと[illegible]

▲金[illegible] 同店の賣二千餘石買千餘石
▲奈[illegible] 同店の賣餘石買千餘石
▲容[illegible] 同店の賣千餘石
▲角ナ 同店の買千餘石
▲[illegible] 同店の賣千餘石

十日の大引 當限 [illegible] 先限 二十四圓二十錢 二十四圓十七錢

四品取組高 七月限 七千四百五十石 八月限 三萬五千三百五十石 九月限 [illegible]

東京より

支那の騷擾

▲過日張勳氏宣統帝を擁立して、復辟を宣するや、世間皆、南方民黨の之に反對すべきを豫期し、[illegible]を見ざるまでも、南方の獨立は、到底避くべからずと爲したり。然るに南方民黨未だ、何事をも爲さゞるに、[illegible]武人間に衝突を引起し、平生相共に、復辟を唱ふるものゝ抗爭最も急なりと稱す。

▲尤も今日、張勳氏を除くと稱して兵力を擁して、相對峙するもの二三者にして足らずと雖も、果して眞面目に、力爭するものなりや、否やは疑問なり。常識を以て之れを斷ずれば、彼等は皆、復辟を以て、其主義と爲すものなり。其主義より云はゞ、復辟の一日も早く、行はれむことを望まざるべからざれども、只張勳氏が、其同志に謀らずして、之を決行し、己れ獨り其功を專らにするを怒りて、之を拒まむとするものゝみ、故に張氏にして若し相當の條件を以て、妥協を求むるあらば、彼等亦、喜びて其事を共にすべき道理なり

▲今日支那に、關係を有する列國は皆不干涉主義を嚴守し、相戒しめて支那の内政に關係することを避く、蓋し是れ、今日の支那に對して、取るべき最上の策なり。支那に中心勢力なきや久し、所在有力者なるもの、實は其力なく、只其境遇に依りて、聲勢を示すものゝみ。過日黎總統が、突如段總理を罷免したるは、黎氏自己の勢力を、過信したるものに、外ならざる如く、此度張勳氏が獨斷にて、復辟を決行したるも亦自己の勢力を過信したるが爲め、ならざるべからず。且數日前まで、世間皆張勳氏を以て、深謀遠慮、資金を計りて動くの人と爲し、其金力及び兵力は、全國に優越せりと、爲したるに、此度事を擧ぐるに及びて、馬脚呈露、復た蔽ふべからざるの狀あり。往年袁世凱氏が自ら信ずるに過ぎて、其帝政經畫の爲めに、自滅を招きたると、相照らすときは、亦以て、支那人物の性格には、共通の點あることを知るを得べし。今後幾たび役者を代ふるも、支那の舞臺に於ける芝居は、常に相同じかるべし。

▲現在支那の局面は、頗る錯綜を極む。張勳氏は宣統帝を擁して、立憲君主制を、建設すべきことを宣布したれども、孤立無援、殆ど自ら支ふる能はざるの狀あり。然れども、南方[illegible]まで黎總統の政府を、擁[illegible]の志力なく、黎氏は我公使館に投じて、其保護の下に、其日を送るといふ有樣なり。所在軍閥者流の、張氏に對する反抗、日に熾烈を加ふるが如くなれども、因と是れ復辟主義者の同士討なり。若し[illegible]に涉らば、所在復辟主義者は[illegible]傷を共に倒れて、自ら其生息を絶ちて已むべし。夫れ清朝傾覆して、支那傳來の、君主制の基礎壞る、袁世凱氏の帝政計畫敗れて、支那人の新君主を喜ばざるの事實明白なり。此度の復辟運動にして、又敗るゝあらば、是れも亦、絶望に歸す。而して共和政治が、支那に不適當なるは、過去六年の事歴に依りて、最も明白なるところにして、今や南人すら、其民政の支持すべからざること[illegible]の人口[illegible]無政府狀態に陷るを深く憂ふる所以なり。(七日發)

鄰邦を奈何…對支國策を確立せよ

進出と後援(二)

中島生

世知辛い社會の落伍者となつて、喰ひ詰めた結果、居るに居られず、淪落の旅鳥となつたのではなく、日本男兒の活手腕を活舞臺に思ふさま振つて見たいと、雄心勃々禁ずる能はずして、若し本國に居れば山水明媚の境地に、幾多有形無形の快樂を得らるゝ筈なるに、其の快樂をも捨てゝ、一切萬事自己の力を以て始終せねばならぬ生活を擇び、異國の山川風物の間に自己の天地を見出し、然かも本國に對しては輕からぬ責任を負ふといふ生活に入らんとする健氣の男兒の行く手には、素より世路の辛酸は崎嶇たる萬丈の山の如く聳り立つて居るのである。吾人は彼等の心事を壯とするにつけても、彼等の背後より、之を鼓舞し激勵し、保護する責任がある筈である。個人の國外進出に對する國家國民の後援といふ事は何よりも必要ではないか。國民の外國發展は國勢の外國伸暢である、國力の外國發展である。國外に於ける邦人個々の生活の充實は本國にとり望ましき事である故に、國家として直接間接に其後楯となり安じて其事業に從はしめ、其活動を盛ならしむる爲めには、種々の方法を講ずる責任がなくてはならぬ。況んや支那といふが如き邦土に於ては邦人の活動は必至の勢にして、國家は之を奬勵すべき立場に在るに於てをや。若し國外に移住して、活動せんとする個人が、其の行く先に於て本國の勢力を背負ふて居らぬとすれば、之れほど心細き事はないであらう。日本人は猶太人の如き境遇に於て世界を家とする事はできない。日本帝國の臣民として、世界の何處に行くも日章旗を携へ、君が代を高唱する國民である。如何なる卑しき職業生活を爲す者と雖も、一片愛國の精神なきものは無し。之を露骨に言ふ時は、日本人の外に在る者は、未だ充分の國家的勢力の下に活動して居らぬと云ふを妨げぬ。遠い米國の事はまだしも、近い隣邦支那に於てすら、國家の保護後援は未だ邦人に及ぶこと頗る薄きの嫌なき能はず。支那に於ける英國の勢力の今日大なるは、英人の活動の結果であり、而して英人活動の最も甚の母國の後援に負ふ事が多いのである。獨逸の勢力の近年支那に及ぶ事亦著しきものあり、之れ國家的後援の下に獨逸人の經濟的活動が遺憾なく發揮せられし結果であつた。然るに、予が支那の各地を訪ふて、在留邦人の主なる人に逢つて、其の語る所を聞くに、彼等の言ふ事の一致せるものあり。それは本國の後援の甚だ心細いといふ事であつた即ち本國政府の對支方針が一定せずして、甲の政府の時に右とせられし事が、乙の内閣の時には反對に左と云ふ風に、變轉常ならず、折角母國政府の方針を標準とし準繩として、吾等在留人は支那人に對して居るのに、内閣が代ると全く方針が異つて來るので、どうして宜いか解らなくなつて、洵に困る、こんな事では日支親善など、いくら唱へたつて駄目だと云ふのである。今日の如く、外交問題が政權爭奪の具に供せられ、殊に支那問題に至つては、全く政略に使用せられ、政治家、政黨家の支那問題を取扱ふ態度、眞に不眞面目であつて、日本の爲めに支那を論ずるのやら、支那の爲めに支那を議するのやら、唯將もなく弱點の素つ破拔きを以て政敵間相互の溜飮を下げる料に供するが如き狀態を、續くれば續くるほど、日本は自から不利益を招くものである。外交愛國病に罹つたと稱するも一言の以て經綸を述べ得ざる大政黨首領もある。憲政の神から權勢の奴隷となつたやうに罵られて、沈默して居る政治家もある。政府與黨から急に在野黨に下つた悔しまぎれに政局を紛糾させやうとする政黨者もある。政府を扶くるも拔けぬも、只政黨の政略次第であつて、何日何時手の裏返すやうに、噛み付かれるかも知れないやうに、[illegible]、心[illegible]ざるを得ないであらうと思ふ。國民も心配であらう。在支邦人が最も可哀想である。對支國策は何の日に確立するを得べきか。

夏の金剛山

丸山晩霞

(九)雁門嶺頂より見たる毘盧峯——[illegible]である。毘盧の麓は[illegible]

雁門嶺より見たる[illegible]

紅い木欒の花や猿[illegible]の黄金花は、[illegible]丁で嶺頂に達したさき、荷負は[illegible]峻嶺は[illegible]金剛山中の最後である。[illegible]

誰(十)

布施生譯

『はゝあ二人は犯人だな、[illegible]』部長は[illegible]止めさうとして[illegible]せてそれを機會に[illegible]

してみると之は此老人の狂言だわいと可笑しい一つ腕を揮つてやらうと躍上らぬばかりに阪は喜び勇んだ。しかし其考へは色にも出さず丁度二階の捜索も濟んだと云ふので一度金庫部屋へ還つてきた。署長は之を促がしたが阪は何時の間にか一生懸命擴大鏡で金庫の扉を檢査して居て、丁度此時何を著付けたか、はつと驚いた樣子をした『何か有つたのか』と署長に聞かれて『いや何別段何でもありません』と何氣なく答へて仕舞ふ『何でも無いたつてまあ兎に角何だい』と署長は追窮する。『いや實は只今[illegible]て見ますと、此金庫はつい最近に開けるか閉めるかした形跡があるんです、開けたか閉めたかそれは分りませんが。』と云ふのは『まあ一寸此處を御覽下さい』言はれて擴大鏡を借りて熟々見るとソニス錠の扉に五寸ばかり丁度鍵孔の處から右へ斜に下を向いて細く引搔いた傷痕がついてゐる。『成程。』しかし之があると如何いふ事になるね』『何、別段何の證據にもなりませんよ』とは言つたが實は之が大きな手掛りになる、こんな個處に引搔創を拵へるのは餘程周章た時に相違ない、鈴富なら何時だつて何も周章る必要は無い筈である。すると[illegible]

い、自分もすぐに立つて隣の室へ通[illegible]

鈴富の同僚は鈴富が這入つてきた姿を見ると、一同に好奇の眼を向けたが、既に懼つて誰も何も言はず者は無かつた。それでも例の竪尾だけは大膽に領で『やあ』と誘ひの言を入れたけれど、鈴富は沈みきつて返事もしない、それで鈴富と一座の者との話の緒は全く斷れて、鈴富は一人手持無沙汰になつたのであらう、頻りに鉛筆を玩弄品にして傳票用紙に、戲書を書いては消し消しては書きしてゐたが、暫らくすると不意に紙を廣げて何やら走筆に書出した、書いて仕舞ふと、小さく小さく幾重にも疊んだ上くる〳〵と丸めて、一寸阪の方を透してみたが、坐睡してゐる樣子を見定めると、ひよいとそれを竪尾の机に拋遣つて『ジプシイ』と一言合圖めいた事を云つたまゝ何知らぬ顏で濟ましてゐる、鈴富も猾いが阪はそれより一段猾かつた『坐睡』と見せたのは阪の詭計で、彼は坐睡るどころでは無い、睡つたと見せかけた眼蓋の下から、鋭い眼で一つも殘さず一伍一什を見てしまつた『憑いたものだな、己の眼を掠めてあんな早業をやらうとする、呆れる程膽の据つた奴だ。』

大氣豫報追報(雨後晴)
[illegible]の手にて捕はれたり(先頭特電)

告別御禮

在鮮中は公私共格別の御懇情を辱ふし候段深く奉謝候然る處今回大阪造船鐵工所に就職致し候爲め來る十三日夕當地發足歸國の事に相成候就ては一々拜趨御挨拶可申上の處行李匆々の際缺禮致し候間乍略儀以紙上御禮申上候 敬具

七月十日 京城 弓場重榮

在鮮辱知各位

創立廿五年記念諸先生肉筆贈呈
小野習字堂 通信教授
模範會則はがき申込次第無代進呈
文部大臣許可社團法人 初學歡迎 入會好機
東京神田猿樂町一ノ三 小野習字堂 斯華會 電話本局五二四〇番

皮革製造販賣 高價買入
牛皮 山羊皮
京城竹添町[illegible] 大田皮革株式會社 電話長(二四)番

▲季節物廣告▲
赤ホートワイン 一打以上景品付
味の素 (一箱以上景品付)
糸の素 (進物用化粧箱入)
白玉粉 (内地手製特撰品)
娘印酢 (兎印特製品)
グリンピース罐詰 (一箱以上景品付)(新製特撰品)
右例年の通り特に勉強差上可申候間多少に不拘御注文被下度奉願上候
京城南大門市場 味の素代理店 辻本商店 電話長七五 六四一番 振替三八番

製麵機械
最新特許 うどん そうめん そば
博覽會共進會名譽金銀賞牌各種受領
家庭用麵機は規模小にして價低廉
陳列場には各種麵機多數陳列せり
説明書御望みの方郵券二錢要す
東京市淺草區東仲町二十番地
元祖 Ⓜ 眞崎麵機店
電話下谷(長)五二〇九 振替東京一三二五七五三一

季節柄適當の御進物品をお撰びには明治屋の品に限ります

營業品目

キリンビール 壹打半打 化粧函詰

商品切手 本支店共通發行ニ付何レノ店ニテモ御引替可申候

洋酒 籠詰 函詰

洋菓子 折詰 罐詰

各地名産珍菓各種

布引鑛泉を原料として製造の
布引サイダー レモン
レモネード オレンヂ

葉卷 紙卷 煙草

京城本町一丁目
明治屋京城支店
電話 一二二番 一七二二番

紛糾せる支那政局

▲時局解決方法決定

張勳氏は八日迄復辟を取り消さずと豪語せるも結局時局を左の如く解決することに決定せり（北京特電）

一、九、十兩日中民國回復上諭宣布
一、定武軍の武裝解除
一、清室の安全、優待條件の安全
一、張勳の生命財産の安全
一、段祺瑞十日入京

▲各國公使の決議

徐氏の調停に須つことに一致す

八日日、英、佛、米、露、伊、和各國公使は日本公使館に參集時局に關し意見の交換を爲したる結果徐世昌氏に對し左の如き意味の信書を送ることに決せり

叛軍の希望を參酌するに時局の善後措置は徐世昌氏の調停に須たんことに一致す北京の治安維持、生命財産保護の爲め徐氏の速に上京するは各公使の歡迎する所なり

右は林公使より天津領事團宛にて松平總領事の許に送り遲くも九日朝徐氏の手に著する筈なり然るに米國公使は之を列國干渉と認め決議に加はらず單獨にて天津米國領事に訓令し徐氏に忠告すべき事を列國に通告せり（北京特電）

▲馮國璋内閣組織慫慂

馮國璋氏は段祺瑞氏に打電し天津に於て内閣を組織せん事を請へり（南京特電）

第卅九回 特別帝國議會

貴族院

▲豫算總會（九日）

貴族院豫算委員總會は九日開會石黒忠悳男より外交政策に就き外相の説明を求むる所あり

▽本野外相『平和會議に於て此の戰爭終局後極東の平和を永久ならしむる爲め帝國特有の權利を保證せんと計畫しつゝあり對支外交に就きては依然不干渉主義なり黎總統が帝國公使館に避難せるは事實なり、復辟派より段派に對して調停の依賴ありしも帝國政府は之を辭したり』と答ふ更に

▽林廣太郎伯『東清鐵道に關する露國との交渉如何』

▽本野外相『目下進行中なりといふより以上を述ぶる能はざるの時期なりと信ず』

▽江木千之氏『支那に反日思想彌漫しあるを政府は放任するや』

▽本野外相は『支那全體に反日の空氣ありと認めず相互間の誤解は減退す可く努力しつゝあり尚ほ支那に對しては飽く迄機會均等主義を以て進まんとす』と答ふ

▽目賀田種太郎男より遣外艦隊に就質問する所あり之に對し

▽加藤海相は答へて曰く『目下我遣外艦隊は地中海の外新嘉坡、濠洲、ニュージーランドの三箇所に派遣しあり』と

▽阪谷芳郎男『滿鮮統一問題に就きては委任經理の法律にて實行し得るや如何』

▽寺内首相『今日滿鮮の統一を爲すは困難なりされど行政統一をも出來得る限り同時に行ひ度き考へなり尚滿鐵は創立の精神上他の普通の株式會社と異れば國有なる朝鮮鐵道の經營を委任し且つ滿鐵の總裁を都督をして兼ねしむる事は不都合無しと信ず』

▽林廣太郎伯『今日の物價騰貴に際し困難を感せる中流階級救濟の爲め金融調節策を講せざるや』

▽勝田藏相『物價騰貴の原因に就ては調査中なるが共原因にも溯り調節策を講ずる筈也』（東京特電）

▲豫算總會（十日）

貴族院は十日午前九時前日に引續き豫算總會開會左の質問應答あり

▽藤田四郎氏『鮮滿鐵道統一は官有主義を變じ民有主義とするものなるが滿鐵總裁關東都督兼任の結果外交上不都合なきか』

▽寺内首相『滿洲に於ける外交は外務大臣の責任にて今回の改正に依り別に影響せず民有主義に變ずる意思なし』

▽高木兼寛男『船員の論功行賞を爲す意思なきや』

▽田遞相『目下調査中にて相當の處置を採るべし』

▽高橋作衛氏『米國は民主々義及び自由の爲めに露國に對し多大の援助を與へ其の代償として露國は鑛山採掘權其他の特權を讓渡すとの事なるが政府の之に就ての調査如何、露國へ特使を派遣する意思なきか、石井遣米大使の目的如何、米國の軍備擴張に對する對策如何』

▽本野外相『露國が米國に利權讓渡の事に就ては調査中なり其の他は今答明の限にあらず』

▽寺内首相『民主々義に關する御質問あれど世界各國に假令如何なる事あるとも我が國體を理解する者は毫も疑ふ事なからん』（東京特電）

衆議院（十日）

衆議院は十日午後一時開會大岡議長より本出保太郎氏逝去の報告を爲し次いで政府より多數の答辯書到著せるも朗讀を省く可しと宣し日程に入り恒松隆慶氏（政友）より山陰鐵道濱田線其の他の線路に關する工事建設方針並びに山陰線中停滯貨物運送方針に關する質問あり次で秋田寅之介氏（政友）より對馬自治制施行に關する質問あり、後八木逸郎氏（政友）より官規振肅に關する質問を爲し、傳染病研究所にて普通病者を診療せる件、醫科大學教授の内艦沖繩縣に於て醫師の立候補を司法官が妨碍せる事あり官規の振肅如何と問ひ造船奬勵金下附停止に關する法律案第一讀會の續きに移る（東京特電）

▲東拓案委員會

東拓法改正案委員會は九日午後三時開會

▽高橋本吉氏（政友）より

一、第十三條三項中『不動產』の次に『鐵道工業其他不動產上の權利』を挿入す
二、同上第八項中『財團』の次に『其他確實なる物品を擔保とす』の文字を挿入す
三、第四十條二項但書中『利益』とあるを『利益配當』と改む

との修正意見の提出あり採決の結果成立し其他は全部原案通り贊成可決し役員の任命、事業の經營に付き愼重なる注意を以て遺憾無きを期すべき旨の警告を添付することに決せり（東京特電）

▲各派交渉會

十日衆議院各派交渉會にて十二日の本會議を質問日と爲す事、十三日も本會議を開く事、議場に於ける政府の答辯書報告は件名丈に止むる事に決定せり（東京特電）

▲上院豫算總會（十日共同特電）

九日午前貴族院豫算總會議に於て本野外相は歐洲戰局及び支那の時局に關して演説し次で目賀田男は帝國海軍の出動に關し林伯は東清鐵道一部讓渡問題及び東蒙古の調査に關し江木千之氏は支那に於ける排日思想の傳播に關し鎌田勝太郎氏は財政計畫の將來に關し阪谷男は戰後財政計畫の必要とする件迫加豫算編成方針、鮮鐵を滿鐵に依託する手續方法及び利害金融調節兌換券發行高の膨脹等に關し質問し首相及び主務大臣の答辯ありたり午後一時より再開阪谷男は支那の阿片及びモルヒネの移入に關し高木男は陸海軍隊壯丁小學校教員工場勞働者の健康狀態及び工場法實施後の効果等に關し久保田男は滿鮮統一に關し江木千之氏も同上に就き阪本釤之助氏は國民教育の大本特に精神教育圖書及び文部省展覽會に關する當局の所見府縣郡市町村整理に關し目加田男は電話事業擴張に關し質問あり兩務大臣夫々答辯し午後四時散會明日更に繼續の筈

薨去せる花房義質子爵と其の筆蹟

◎朝郵運賃引上

貨物は三四割上げ

朝鮮郵船會社にては九日遞信局より承認を受けし新運賃を十六日より實行する事となり目下切りに其の準備を急ぎつゝあるが今回同社の運賃引上は船價並に傭船料の昂騰消耗品の暴騰保險料の増加其他の經費が戰前に數倍したるため止むを得ざる處置なるもの〻如く運賃引上率は乘客賃金に於て既報と同じく三等賃金据置き二等は三等の十五割なりしを十八割に、一等は三等の二十割なりしを二十六割とせしに留まり貨物運賃は從來に比し最低三割最高四割の引上げとなり若干特例を設け居れり

◎京城並樹計畫

市區改正線路に植栽する並樹の選定及び其の實行方法に關しては昨年十月の京城街路施設物整理委員會に於て決議せし所ありしが其の後の經驗に由れば『プラタヌス』を黄金町、敦化門通り、龍山漢江通りの二線に植栽の豫定なりしが樹の葉及び果實より飛散する毛茸が咽喉に障害あるを以て他の樹種に變更するの必要を感じ京城林業試驗所に於て研究し又苗圃養成場の苗木に就き各種の樹種を比較調査研究の結果『シンジュ』なるものは發育佳良なるのみならず古來より滿洲及び朝鮮に產し土地に適應するものとして認められし結果『プラタヌス』植栽豫定計畫は左の如く變更せられたり

▲黄金町通り [illegible]

◎春繭販賣狀況（第六日）

京畿道産春繭共同販賣は去る九日豫定の如く其第六日を楊州郡に開催せしが集繭總石數百七十石にして品等單價特等八十七圓一等八十四圓二等七十九圓三等七十五圓四等六十八圓十錢等外五十一圓三十錢の價格にて取引せられしが大部分試驗飼育の爲め製絲場へ特別取引せられ殘部を一般の入札に付したりと

◎定例長官會議

總督府にては十一日午前九時より山縣政務總監統裁の下に國分大屋宇佐美小原持地各長官、有賀長官代理久水課長狹田局長等出席定例會議を開き正午散會したるが次回よりは暑中に就き前例に依り緊急の要務なき限り金曜日は休會すべしと

◎羽田公太郎氏逝去

京城學校組合醫羽田公太郎氏は本春以來二豎の冒すところと爲り療養中のところ藥石効なく十日終に逝去せり氏は就任以來二年有餘夙に精勤家として令名高かりき

◎排英革命陰謀發覺

獨人關係の下に大規模に計畫さる

印度に於ける排英革命の陰謀發覺したるが右は過去四年間獨逸人關係の下に大規模に計畫せるものにて九十八名檢擧されたり（桑港電報）

◎朝鮮へ外米二千噸輸入

十日香港より門司へ入港せる南洋郵船會社汽船旅順丸は二千噸の外米を輸入し來れるが同米は朝鮮に輸入すべきものなりといふ尚ほ内地米騰貴の爲め目下外米の輸入計畫盛んなるが外米輸入は大正二年以來杜絶せるものなりと（門司特電）

人事消息

▲中村彌六氏（林學博士）十一日朝入京浦尾へ投宿の筈
▲中村順氏（明治生命保險京城出張所長）十日夜入京巴城館へ

■南言北語■

張勳老と云へば非常な我武者で張飛の樣な男の樣に思はれて居るが▲實際は竹を割つた樣な男で正直者で鳥渡我輩島正則君に似た處がある▲田中參謀次長が張勳に逢つた時何か一筆賴むと早速快諾した▲後で副官が『お斷りして置きますが張大人の書は凡て代筆です』と慇懃さに挨拶に來た▲其の代筆には『張勳』『小軒』と叮嚀に雅號迄入れて牡丹餅程の落款が押してある▲鳥渡人眞似の出來ぬ正直な處がある▲最一つ張勳の正直な話は彼が未だ郷里の江西省で小役人をして居た時▲巡撫使から武器を買つて來いと萬元託された▲北京へ來ると早速酒色に耽り博奕を打つて▲物の見事に一文もなくしたので友人は心配して▲『歸れば殺されるから逃げろ』と勸告した▲張勳平氣なもので『何あに大丈夫』と云つてサッサと歸つて來て▲『酒と女と博奕で費ひ果しました』と正直に報告すると▲却々巡撫使のお氣に召して此奴面白い奴だと重用されたが▲之が出世の綱となつて今日の地位迄贏得たのである▲世は共和とか何とか騷で居るのに獨り未だに辮子を垂て清朝の恩を謝して居るなんて▲全く此正直な處から來て居るだから今度の復辟なども▲反對派が云ふ樣に幼帝を擁して叛謀する樣な野心ではなかつたに違ひないとは某支那通の談▲花房子が薨去した相な▲同子は朝鮮とは非常に深い關係のあつた人だ▲明治十五年の變に遭難した事は世人の知つて居る通りであるが▲明治四十年の八月に時の東宮殿下と有栖川宮殿下に奉供して京城へ來た際▲言子は度々お目にかゝつて當時の懷舊談も拜聽した▲好い老人でガッシリした體格で▲何うだ今の若い人にも吾輩等が遭難した當時の樣な犧牲的元氣があるかね▲など教訓する樣に話されたものだ▲惜しい人である

御待兼の大寫眞上場

世界的名優ハーバート、ツリー卿の演じたる天下一品の傑作

公開	
七月十二日	木曜
七月十三日	金曜
七月十四日	土曜
七月十五日	日曜

四日間限 日延べなし
毎日二回（晝午後一時から 夜午後七時から）

勿驚！二百萬圓の文藝大寫眞 タツタ五拾錢で見られる!!

▽ロンドンにて最低二磅、ニューヨークにて最低十弗、東京帝國劇場にて五圓の觀覽料を以て公開せり

■英國大文豪沙翁晩年の大著

MACBETH

史劇 マクベス 全九卷

◈活動之世界曰く『名優出演の活動寫眞劇て、餘りに成功したものはない樣だが、此の「マクベス」許りは、眞にツリー卿の百錬百磨の功に成るものだけ、何れの場面にも眞に人を魅するものがある、殊に其演出法の新しい味こ。場面變化の工夫とに於て本邦劇界に對する絶好の參考品であり、又沙翁劇研究者にとつて稀世の寶典珍什である、一般の人々にも如何にマクベス劇が名作であるかと云ふ事を興味中心的に撮影されて居るので、非常な人氣を博した

説明者
東京小林商會辯士長 黒澤松聲
有樂館主任辯士 南郷公利
早川演藝部客員辯士 久世春濤

觀覽料

等級	大人	軍人學生
一等	二圓	四十錢
二等	一圓	二十五錢
三等	五十錢	十五錢

十二歳以下の御子供衆は入場御斷り申候
但し御同伴は御隨意に候

■本興行に限り普通の招待券及入場券御斷り申上候

東京小林商會滿鮮一手代理店
米國ユニヴアーサル會社特約
早川演藝部直營
電話二〇五。五九七番
有樂館

◎孟督軍の二股膏藥

◎獨飛行機論敎攻擊

◎長春雜信（五日發）

黄龍旗を掲げしめたるが張勳の設計不利と見るや再び電命して黄龍旗を下さしめ且つ辯明して『此度の事は副官勝手の計ひにて自らは知らず』と云へるより紛騒起り各督長は之れが後始末に苦しみ十日奉天の張督軍……

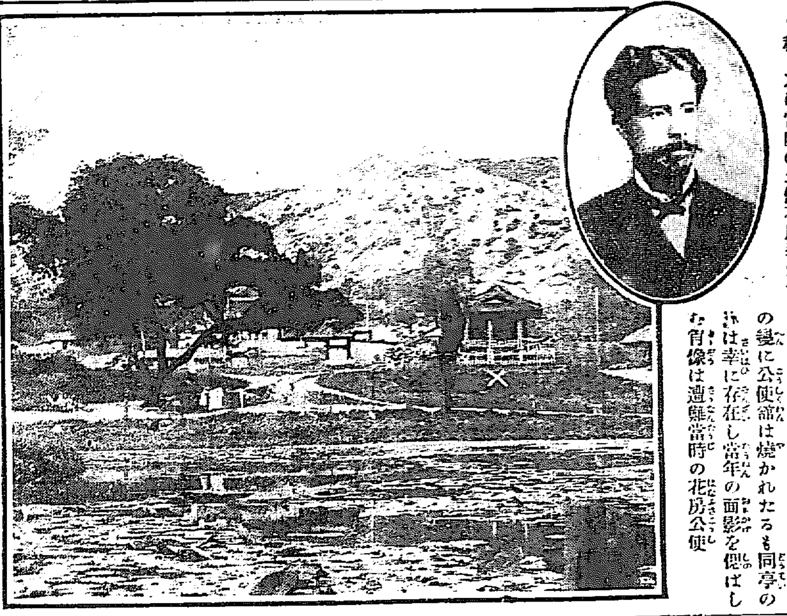
七日朝九時獨逸飛行機約二十臺は倫敦の空中を横斷し急烈なる爆彈攻撃を行ひ多數の死傷者を生ぜり（倫敦電報）

……期たる三十日には如何なる故障の生すべきやとは經濟界の問題として多大の注意を拂はれ居たるが邦人銀行……

▲露貨前途弱し ……起せず終了したる……出來なりき一時二百十二留迄引戻せる 留も其の後ち……は尙暴下るべきものと見て好るべし

▲露鐵運賃引上 露國鐵道運賃引上は既電の如く去月二十三日よ……

▲黄龍旗飜る 北京より吉林省へ……支那側官署には三日公式に清朝……吾れ關せず焉と云へるが如き態度にて平氣に商業を營み居れり……を知らざるもの〻如く共和、帝政……



■花房子爵遭難當年の面影と其居室 京城に於ける最初の公使館たりし西大門外盤松坊の日本公使館跡にて世に清水公使館と稱し又は當時の公使花房義質子の居邸なりし天然亭なり明治十五年の變に公使館は燒かれたるも同亭のみは幸に存在し當年の面影を偲ばしむ肖像は遭難當時の花房公使

◉兇徒の大集團から襲撃を受けて
三晝夜 米粥を啜つて海上に漂流
朝鮮公使時代の花房子
◇◆辛うじて血路を開いたもの〻誰も彼も負傷者許りで血だらけの有様◆◇
‖久水外事課長の懷舊談‖

花房義質子薨去の報に接し故子爵の朝鮮公使時代緣故深かりし當時の外務省御用掛にて現總督府外事課長たる久水三郎氏を官邸に訪問して聽き居たる懷舊談左の如し

明治十五年故花房子爵が朝鮮公使時代兇徒の大集團から襲擊を受けた事を追懷すると殆ど隔世の感がある、恰度其日の朝堀本步兵中尉は訓練院から日本公使館へ來る途中

◆兇徒の爲めに慘殺 され、事態は刻々に危險に瀕したので花房公使、書記官、公使館員並に通譯生、巡査、語學生抔約三十名と共に夜中の三時頃跣足の儘京城を引揚げて仁川に向ふ途中、翌日の正午頃、今の富川郡即ち當時の富平邑に差掛ると、此處に朝鮮の鎭衛隊が約一個中隊許りあつて、それが吾々一行の逃れ來るを見るや否や、一齊に攻擊を始めたので、一行中の巡査は

◆勿論吾々迄も應戰 し辛ふじて血路を開いたもの〻誰も彼も負傷者許りで血だらけになつて薄暮頃辛ふじて仁川の海岸（今の埠頭）まで落延びて來た、此處でも大多數の亂民は手に〳〵棍棒や大形の庖丁抔を持つて追跡して來たが、幸ひにも海岸に一隻の小舟があつたので、それへ一同乘移り月尾島まで漕付けたのであつた。此の間にも亂民は附近の小屋へ放火して一行の行手を發見するに努め、且つ陸上より礫を放げ附けるので、又々

◆吾々は負傷の上塗 をなし、命からぐ〳〵で漸つと今の石油倉庫附近の一本松の所へ上陸した吾々はホツト一息吐きたる上此の島から米一俵を徵發して、又も幸ひ濟州島から來た漁船があつたので、其の漁船を漸く借入れた上運を天に委せて浪の上に三日三晩漂泊したのであつた。考へても見給へ一行の生存者二十五六名が何時まで掛つて陸に着くか判らないのに糧食としては

◆タツタ米が一俵と は心細い次第ではない歟、それ故其の米を粥に炊て啜つてゐた始末である。所へ恰度遙かの向ふの波の上に大きな軍艦らしいもの〻影を認めたので一同は雀躍りして喜んだ、ソコで各自體へ卷いてゐた日の丸の國旗を繫ぎ合はせて檣の上に揭げたる上、救助を乞ふたのである、幸ひにも其の

◆艦は英國の測量船 フラインフヰツシといふ西洋料理の名と間違へさうな軍艦であつて、吾々の漂流してゐるのを發見したもの〻だから直ちに救助して吳れた。吾々は這んな狀態で、一碧萬里の渺茫たる海洋上に漂ふこと三日間にして、四日目の午後三時頃、漸く此の英艦に扶けられた譯である。所が好い事には、此の艦の艦長ホスキン少佐は私が四年も乘つてゐた軍艦の艦長であつたので

◆眞に地獄で佛の思 ひをした。それから艦長は親切にも自室を明けて負傷中の花房公使の室に充て、各士官も其れ〳〵明放して書記官以下の居室として吳れたのには嬉し淚が溢れた。――何――軍艦の噸數かへ――大きな軍艦だと云つたから、何んなに大きからうと思ふだらうが、正直掛値なしの總噸數八百噸さ――是でも當時は大艦巨船と云つて恐れへないのである」と、久水課長は膝を進めて尚も追懷を續けた（未完）

◉危險を冐して水中より七名を救ふ・
忠南の洪水‖普通學校長の美擧

忠清南道中江景地方及び之に接したる公州郡灘川面木洞面地方並に全義方面は過日來の豪雨にて濁流滔々

◆一面の泥海 と化し浸水家屋は云も更なり多くの流失家屋を出して非常に慘狀を極めたり何分晴天の出水にて避難の餘裕なかりしものか、木洞面利仁の或一軒屋より高聲を放ちて救ひを求めつ〻ありしも四面は五尺以上の濁流漲り水泳を知らざる里民等は如何とも爲す能はず空しく其聲を聞き乍ら之を眺めつ〻ありしが其中其の家屋も

◆流失の厄に 遭はんとするの模樣なるより同地公立普通學校長黑木儀壽圭氏は幸ひ同家に同校生徒の宿泊するもの二名ありて內地語を解するより之に長き綱を投げさせ之れによりて外敎師等と共に同家に渡り行き五六名の人員を順次背負ひて避難せしめたり然るに最後に殘りし戶主たる老人は古來朝鮮は如何なる場合にも家長が家を立退く時は其の家は忽ち潰ると云ふ傳說あれば自分は立退かすと如何にしても避難を肯かざりしも猶豫せば

◆忽ち生命に 關する場合なりしを以て無理に同人を背負ひ避難せしめたり因に同校長は之か爲身體に變動を來し目下公州慈惠醫院に就て療養を爲しつ〻ありと（公州）

◉夜店で大亂暴

元昌德宮警察詰巡査補李洞一〇九史柄俊（二三）は貫鐵洞一二三崔鎭洙（二〇）と共に八日夜鍾路の夜店を素見しに行き金物の露店を出し居たる鍾路一丁目三一元村軍吉方の店頭に到り七八寸の短刀を見せろと云ひしに元村が五寸より長き短刀を賣ることを禁じられ居る旨を答へしに兩人は無法にも亂暴を働き元村を毆打して左の鼓膜を破りし騷ぎに鍾路派出所へ引致され目下取調中

◉世間に鬼は無い
『身を沈めて病夫を助く』の主人公へ同情の數々

去る六日の本紙朝刊三面に記載した『身を沈めて病夫を助く』なる記事の主人公石川縣人上野清一がその妻の志によつて總督府醫院に入院した事はその當時記した通りであるが、總督府醫院では同人が入院後本紙の記事によつてその事情を知り同情の末施療患者として取扱ふ事としてその手續きを濟ませたが、更らに同情者は他にもあつて市內黃金町三百七十二番地木田竹次郎といふ人から本紙に上野一家の境遇を知り洵にお氣の毒に思ふから之れを入院料の足しにでもして戴きたいといつて病院に宛て〻金十圓を送つて來たので病院から此の旨を本人に通じて渡したさうである然し病人は主に脚氣が惡いのであつたが最う大分快くなつたとの事である

◉大阪染料會社專務取締役拘引さる

大阪染料會社專務取締役西村宗十郞は商法違反詐僞として十日拘引せられたり（大阪特電）

◆害蟲驅除と犬皮

近時害虫の發生著しく各所之が驅除に全力を傾注し居るの有樣なるが平安北道碧潼郡專時面中洞金剛倘なるもの害蟲發生地の風上に於て犬皮を燒きしに效果ありとて燃したるに不思議にも害蟲一定も見ざるに至れりといふが之は害蟲の臭氣を忌み一時他に避散したるものと思はる〻が他方面に於ても同一方法を施し全滅したりとて一般に其の不思議なる効果に驚愕し之を實施せんとて犬皮を盛に蒐集しつ〻あり

◉三人强盜逮捕

去月十一日夜十一時頃より翌十二日朝四時頃までの間に慶北慶州郡江東面卯里居住の金潤、崔某、鄭某の三戶に闖入し家人を脅迫して現金四圓七十錢を奪取したる賊あり同地警察署にては極力搜查中の處迎日郡生れの黃守奉（三七）及び出（二〇）慶州郡生れの崔根伊（四三）なる事判明して逮捕されたり目下取調中

◉他殺鮮人屍體

全南潭陽郡古西面校山里前の川中に年頃卅五六才の一人の鮮人屍體浮流せるを發見したるものあり昌平憲兵派遣所に於て檢視せしに他殺の疑ひあるより直ちに光州檢事局へ報告せしかば檢事は同地へ急行檢視せしに左顱頂部に石を以て毆打せし如き傷あり之に依つて腦震盪を起し死亡したるを川中に投げ込み溺死せる如く裝ひたるものにて死後約二日間を經過し居るより犯人の搜索中途に此程に至りて潭陽郡古西面校山里梁良下（三十）の所爲なる事判明直ちに逮捕されたるが原因は多分口論の末なるべしと

◉贋指輪を種に

咸南安邊郡祥谷面生れ間島龍井村上塚里居住眞鍮食器商李鶴柱（三〇）及び咸南北青郡德面生れ同職尹京鎬（三二）は共謀して眞鍮金に鍍銀せる朝鮮婦人用指環を作製し之を所持して本年六月九日以降豆滿江沿岸及び富寧郡沿海附近を徘徊し銀製指環又は銀側指環と詐稱して一組二個を八十錢乃至二圓五十錢宛にて十數組を賣却して不法に騙取せる事咸興署の探知する所となり過般檢擧取調の上檢事局送りとなる

◉山林中で縊死

福岡縣生れ吉村民造（三七）は三年前鎭南浦芝山里の上松好藏方に賴り來り草鞋造りを爲して手傳ひ居たるが一箇月前より病氣に罹り上松の世話に爲るを苦にしたるものか七日夜突然家出したるを以て上松は心當り搜索中八日午前九時頃附近の山林中にて同人の屍體を發見したるが既に絕命し居たるのみならず縊死用の兵兒帶が切れて地上に倒れ居たるより早速鎭南浦署に屆出で同署にて檢視の上屍體は同居者上松に引渡し假埋葬に附せり

◆李王職動物園と朝鮮產の蟻の塔

今回在京城の某なるものより李王職動物園に納めた蟻の塔は、何時の頃か解らないが、我國に來朝せる所謂布教の方便上朝鮮の黃海道地方より齎らして、武州川越在の某寺院に保存されてあつたのを、偶々或る事情から東京附近に住する某氏の手に入つて今回端なくも李王職動物園に買上げられたものである。今某專門家の談に據ると

◆蟻の塔は蟻の築造 したものではない◆

『蟻の塔』といふものは、世間に傳へらる〻所に據ると、蟻が微細な土砂や塵埃の類を運んで來て築き上げた樣に傳へられてゐるが、是は大なる間違ひである、尤も埃及乃至亞弗利加地方に產する一種の蟻族は土砂や塵埃の類を以つて巧みに塔を築造するさうであるが、東洋殊に支那朝鮮又は我國に於ける蟻の塔は決して築き上げたものではない、察するに

◆白蟻に據つて腐朽 せしめられた樹根◆

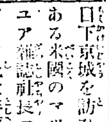
の類が幾多の長年月を閲して土塊の成の如くなつた所へ、外の蟻族が這入つて來て、それを蟻の巢窟の如く占領したものである。御存じの如く蟻の巢部ち蟻の城廓なるものは蟻の集團が地中若くば朽木の中に〻手〳〵した隧道を造つて、そこに住ふものである。故に偶々白蟻に依つて朽果てたる朽木杯があると、その空き家を自分の巢にして占領して了ふものである。蟻には雌雄兩性の外に雌雄中性の職蟻と兵蟻なるものがある。雌雄の蟻は專ら生殖を營み、職蟻は主として朽木又は地中の巢を、所謂蟻の巢らしく築造するのである。此の蟻の塔も腐朽した樹根を多數の職蟻が、一生懸命になつて其の城廓にしたものであらう。職蟻の多に兵蟻があつて敵の來襲を防禦し、又は他の巢に向ひ攻擊を試み幼蟲を捕獲して奴隷とし又は惡蟻を驅除して互にサツカリン性の物質を攝取して居る任務に當るものである。偽り說明を惇くするさ

◆小學校の先生ならみろから◆

こいらで止めて置くが、雌雄の蟻は、初めは翅を有つてゐて、空中で交尾し、それが終れば雄は戀死し、雌は多數の卵を生み、その內に雌雄の蟻も出來れば、兵職蟻も出來て、雌の子が出來ると共に翅を失つて了ふ、而して、今回李王職動物園に保管すべき蟻の塔は、蟻族中大蟻の巢であつて、腐朽した樹根は

◆松樹の幹根らしい◆

との事である。目下動物園では何か珍らしい蟻族を獲に飼養して見ようとの計劃であるとか



目下京城を訪ひつ〻ある米國のマックルユア雜誌社長マックルユア氏は年頃五十二三の、身體の餘り大きくない、然し頗る元氣な人で、容貌擧動が一寸アングーウツド氏に似て居る▲マックルユア雜誌は氏が今から二十年程前に起した月刊雜誌で、政治文藝に關する材料を揭載したものだ。我國でいへば中央公論と文藝倶樂部とを搗き交ぜたやうなものである▲氏は此雜誌の代償を執り大に成功した、てう賣るの策を非常に巧くして多くど博文館が同樣の遣口に因りて成功したのと同じで氏の成功により他の米國雜誌も大に値下げをすることを餘儀なくされた▲氏の雜誌の收入の主なるものは廣告料で、昨年中の廣告料總收入は百五十萬圓に上つたといふことである▲氏は精力旺盛な人で、殆ど休みなしに活動する。本田增次郞氏が同行して內地から朝鮮へかけて旅行する筈であつたが、本田氏はたッた二日で弱つてしまつた▲日本へは始めての旅行で、來た時にはミラード一派の排日著作に誤られ大分我國を誤解して居たが、內地で多くの名士と意見を交換した結果其考がよほど良くなつたやうで、盛に日本が米國と提携すべきことを主唱して居る▲今度は支那から比律賓を歷遊して歸國の後東洋問題に關する著述を出すさうである

◈中元大賣出し◈

◈御贈答品取揃 中元御贈答品向の品々一式取揃へ都て紙包又は函入として體裁宜く調進仕候

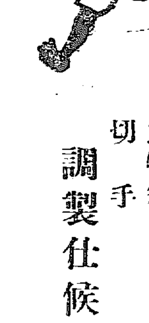
◈貰つた方が大喜びの絕好の贈答品澤山陳列いたしました……お好きなもの御撰擇下さい

京城本町 電話四七番 まからんや號洋雜貨部

◈御坊ちやま御孃さまが大喜びの夏の洋服そのほか洋裝附屬品一式はまからんや號子供部で揃ひます

◎タツタ一ケ月五十錢の拂込で六通の債券の抽籤權利がこれ完納すれば大割增金附き勸業額面拾圓債券が手に入る
年中月〻くじを見る事ができる面白債券購入法最初十口券一口購入すれば直ちに申込金五十錢と第一回掛金五十錢の計金壹圓を御拂込になれば直ちに六通債券の抽籤權利附債券番號記入の引換證券を御送り致します其後は毎月五十錢宛の掛金で債券が買へます
京城府長谷川町 振替京城三五七五番 日本勸業銀行債券月賦販賣所

中元暑中 御進物用品



進物箱 切手 調製仕候

營業讓受披露
謹啓時下各位益御清祥ノ段大慶ニ奉存候陳者拙者儀今般京城製油所建物現在ノ儘並ニ營業全部ヲ讓受ケ其他一切ノ權利ヲ繼承致シ大ニ事業ヲ擴張仕リ同時ニ一層奮勵努力以テ製品ヲ改善シ取引ノ敏活且ツ誠實ヲ旨トシ營業仕候間何卒倍舊ノ御眷顧ヲ賜リ度御披露旁々伏シテ奉願上候
大正六年七月
京城南米倉町七十五番地 京城製油所 所主 渡邊文治
電話一六三〇番 長電話九七三〇番 振替口座京城四〇〇番

營業種目
菜種油 胡麻油 カストル油 ボイル油 其他油類各種
大豆油 荏子油 綿實油 鯨油
白絞油 龜子油 椰子油 魚油

土管 下賤 柿木跡 京城大平町二丁目 新荷着 山本商店

分析所開始
本所の特色◎
△設備の完成△
△技術の優秀△
△分析の迅速正確△
京城明治町二ノ三六 電話二七七一 本町一丁目江戶川横入 田部分析所

京日案內
▲申込後中途解約中止の節は申込金返戻せず ▲六回以上の御申込は特に有利 ▲御照會は返信料に有之ざれば御回答せず ▲御照會の節は必ず數字の番號を記入なすを

普通
◎小僧二三名入用十四五歲小學校卒業したる者本人來談を乞ふ 本町一 山岸天佑堂器械部 電一〇六 273
◎看護婦入用但し有資格者及看護に經驗ある者は至急來談あり度し 仁川 小倉病院 274
◎時計修繕專門技術熟練なる職工大至急要す高給料支給旅費送呈す 滿洲撫順千金寨東町 山田時計店 271
◎外務手任募集 經驗ある者極力優待 午前中面談 京城府永樂町一 商品陳列館前 大日本信託出張所 270
石膏像新形種々入荷 東京製御小賣 京城本町 電三元 振三三二 ウッボヤ 222

番外
年金一恩給月利二歩 短期三年半迄無保險▲額前全立替 長期 商品陳列館前 京城永樂町 表門前下角 江州屋本店 166
◎鑛物各種分析 太平町二丁目二二六（電話一八三三）遠藤醬油店向側入る 松永分析所 272
新古金庫大釜 洋和樂器 姿鏡 椅子卓子陳列戶棚書棚製造並に修繕 黃金町二丁目 電長二四二一 室商店 264
藥劑師至急入用 給料は高くとも安くは差上げません午前中乞御來談 櫻井町二ノ一〇九 荒川忠 262
◉女辯士見習入用 希望の者は來談あれ 黃金館 261
賣家 永樂町二丁目瓦葺日本建三十二坪外二階二十二坪 付◉南山町三本願寺下釘丹葺木造倉庫建三十九坪餘◉入札日七月十八日 永樂町二ノ 京城十友合資會社 251

京城學校組合校醫陸軍一等軍醫正七位羽田公太郞儀病氣の處今十日死亡仕候に付此段謹告候也
追て葬儀は明十一日午後二時大和町開敎院に於て執行可仕候
大正六年七月十日 男 羽田潔 友人總代

花筐(五一) 松田竹の島人作

鰹て早見は、梯子段を降りて、便所へと往つた。

便所へ往くには、荒物屋の茶の間の前の椽を通らねばならなかつた。茶の間と椽の間には、紫戸が建て、あつたから、薄暗い茶の間は、椽の方から見ゐなかつたが、其反對に、茶の間から椽の方は、紫戸を透かして能く見ゐた。

荒物屋の女房が、二階にゐた主人を呼んだのは、來客があつたからであつた。其客は婦人であつたが、主人は女房と三人、茶の間に鼎座して何にか頻りと語り合つてゐた。早見が便所へ往くのに、椽を通ると、其婦人の客は、早見の姿を凝乎と見た。程なく早見が、便所から出て、再び椽を通ると、其婦人の客は瞳を凝らして早見を見た。早見は恁う念入に見られたとは知らず、梯子を昇つて、自分の部屋へ戻つた。

其婦人の客は、茶をグッと飲で、『今此處を通つたのは、早見さんといふ人ぢやありませんか?。』と訊くと、荒物屋の主人は輕く點頭いて、『然うだ、お豐お前は彼の人を知つとるのか?。』

『什麼も早見さんに違ひないと思つた。』

『什麼して知つてんだ?。』

此婦人の客はお豐であつた。荒物屋の主人は海野嘉七といつて、お豐の實の父であつた。

お豐は逆子に京子を訪ねてから、それからずる／＼居付きに爲つて、京子の用を足してゐた。

逆子に往つてからの模様を、田淵に逢つて詳しく噺さうと、京子の前は島渡親父の處へ往つて來ると、旨く言ふて東京へ來た。停車場から電話で、會社に出てゐる田淵へ『上京したことを知らせると、夕方でなければ、自宅へ歸へれないから、其時刻を見計らつて、來てくれといふことであつた。だからそれまでの時間を潰す爲めに、父の家へ寄つたのであつた。

『思ひ掛けない人に逢つたもんだ』とお豐が呆れてゐると、母のお吉は長煙管でスパ／＼煙草を燻らしながら、

『什麼して知つてるのさ?。』

『自宅で早見さんを見懸けやうとは思はなかつた。』

『什麼して知つてるのだつて訊いてるぢやないか。』此娘は眞個に自烈體よ。』とお吉は厭々しさうにいふ。

嘉七に、湯香へ茶を注ぎながら、『あんな貧乏な早見なんか、知つてたつて何んにもならない。』

『其麼貧乏なんですか?。』

『貧乏だなんてお前、喰ふや喰はずに居るんだよ。』

『ぢや自宅の二階を貸してるんですか?。』

『然うさ、三月前に移轉して來たが今月分の部屋代を未だ寄來さいで、困つてるんだ。什麼か叩き出さうと思つて、今まで二階で談判してゐたところで。』

『そりや叩き出した方が可いよ。』

『然うか、不可ない奴か。』

『まあ善くない人ですね。』

『飛んだ奴を置いちやツたなあ。』

と嘉七が眉を爨めると、お吉は長火鉢の縁に、煙管をポンと叩いて吹殼を落し、

『だから姿が貸すのを御中止なさいと言つたぢやないかね。一と目見りや甚麼性質の人位は直ぐ分るぢやないかね。』

雨天には**簑**と**笠** 龍山漢江通 **金川商會** 電話六四八番

◎中元の贈答品は何がよい

最も廉價で徳用で贈りて見ばれ費つて氣持のよい

◉砂糖箱詰 ◉玄米善哉(箱入) ◉同 箱詰 ◉コーヒー入角砂糖 ◉同 袋入 ◉角砂糖 罐入

千利堂 南大門店電話二七一 本町支店電話二九三〇

◉早稲田大學卒業式

城北の空に地を相して、學界の一分野を有せる早稲田大學にては、五日午後梅雨晴れの天氣なりしが、中央校庭に爽涼なる白色の大天幕の下に三十四回得業證書授與式を擧行せり。午後三時壯嚴なる進行曲に伴れ、總長大隈侯爵、學長天野博士以下各分科長を始め教職員二百五十餘名式服著用の行列にて、滿場を壓する拍手を浴びて入場す。齋藤の氣横溢の中に幹事開會を宣し、總員起立、校歌『都の西北』を合唱す。次いで天野學長は各部科卒業生九百十六名に得業證書を、各部科首席卒業生十五名に大隈總長夫人よりの獎學賞を、次で學年各部特待生三十五名に特待生證書を授く、此間起りて靡亂たる樂音典雅崇高の妙音を湛へしむ。奏樂絶ゆるや、天野學長は再び立ちて學事報告を爲し、更らに潑剌として活社會に乘出さんとする、約一千の健兒に對して温情的に溢るゝ告別の辭を與へたり。續いて大隈總長は例の眞氣のかゝカンに包まれたる巨軀を起して、一場の訓示を試む、意氣軒昂元氣旺盛なる世界的偉人總長の訓示は、稻門學士として、活動の源泉となるべく見えたり。終つて活舞臺に雄飛す可き約一千の新卒業生が、大學部、專門部、高等師範部卒業生總代、支那留學生總代の答辭、校友總代村井本店監事村井五郎氏の祝辭あり、尚ほ同時に豫科卒業生千百五十八名に對しても證書を授與し、最後に總員『君が代』を合唱して式を閉づ。此の日の卒業生數を學科別にすれば

大學部政治經濟學科	七七
同 法學科(獨法兼修)	四
同 (英法兼修)	二九
同 文學科(哲學科)	一四
同 (英文學科)	五〇
同 (史學及社會學科)	一〇
同 商科	三一九
同 理工科(機械工學科)	三九
同 (電氣工學科)	六九
同 (採鑛冶金學科)	一八
同 (建築學科)	一七
專門部政治經濟科	一四七
同 法律科	六九
高等師範部國語漢文科	三〇
同 英語科	一八
同 二部數學科	三
同 理化學科	二
合計	九百十六名

にして、來賓には朝野の貴紳名士頗る多く、近來稀に見る盛會なりき、式後大隈侯爵邸に於て大園遊會あり、大隈總長と、早稲田大學との爲に乾杯し、散會せるは黄昏近き頃なりし

新刊紹介

▲雄辯(七月號) 和巳兒玉大將(後藤新平男)三方改良論(高田多門)宗教的意識の發展(紀平正美)支那政界の中心人物(波多野乾一)ゐ聯と天才松田源治(三超絶(近角常觀)發音の研究(高田邦一)ガーフィルドと彼の警句(淸水橋村)永井氏を蔽に廻して(佐藤長治)等の外懸賞五分間演説發表其他(三十錢東京本郷駒込阪下町四八大日本雄辯會)

▲ホトトギス(七月號) 山と人とを想ひて(依田秋圃)及阪本四方太氏の追憶に關する數氏の感想あり月並研究其他如例(二十七年東京牛込市谷船河原町一二共發行所)

▲鑛業新報(七月號) 鑛業業法の改正に就て(社説)を初め鑛業に關する論説、研究、雜錄等數十を收む(十八錢東京日本橋堀留町一四共社)

▲海友(六月號) 五年支那對外貿易、支那の水運、世界船舶と來海運、日本でも木造汽船世界商船の半減其他(十五錢大連市寺内町通二大連海務協會)

▲活動寫眞雜誌(八月號) 誘惑、死の霧、一國女、誘惑の卿、不動金剛丸其他の悲劇、喜劇、連續劇等數十如例(二十五錢東京赤阪一ツ木町六五共社)

▲文章倶樂部(七月號) 夏の旅の思ひ出及私の十七の時なる題下に現下文壇の流行見十數名の感想を纏めたり其他詩歌小品小説等如何(十錢東京牛込矢來町中の丸新潮社)

▲中學生(七月號) 猿と人間とはどんな關係であるか、動物靈感論、人間はいつも戀して居る、合理的運動法其他(十五錢東京麹町富士見町六ノ一〇研究社)

▲地方行政(七月號) 中産階級の救濟、自給自足主義の擴大、市町村豫算整理論、林業と治水事業、國債低還論等(十五錢東京々橋加賀町九帝國地方行政學會)

▲農業世界(七月號) 若し日本が獨逸であつたなら、蠶産物取扱上の注意、茄子の病氣と豫防法、農業倉庫の設立に就て等(二十錢東京日本橋本町三博文館)

▲良書新報(七月號) (會費月八錢東京小石川小日向臺町三ノ一六良書普及會)

▲流行(七月號) (十五錢東京日本橋通一ノ八白木屋)

▲朝鮮基督教時報(七月號) 五錢京城貞洞一八八共社)

▲實業之日本(六月號) 力の經濟(新渡戸博士)教育の罪か社會の罪か(增田義一)戰爭論(天野博士)外交と經濟(福田博士)等其他(十二錢東京京橋區南鍋町共社)

▲農業雜誌(七月號) 農產獎勵の一法、樹栽利用と農村振興、多數有益の秘訣、蠶の利用性に就て、自然研究發錄等擧家の良師友(十八錢東京麻布東鳥居坂町學農社)

▲帝國青年(七月號) 新時代とは何ぞや(伊澤修二)大正青年の覺悟、疑惑解決、辞實出版法、偉人の少年時代等内容健實(十二錢東京麹町内幸町一ノ四共社)

▲趣味之友(七月號) ダンスと日本舞踊(坪内士行)西洋の芝居番附(小山内薰)及虫のさまざま、宗教と小說、七夕考等趣味本位(二十五錢東京麻布町一八〇共社)

讀者の領分

貴紙朝刊一面の小説は實に面白くなつて來た探偵小説だとの事だから警官や探偵や武骨な連中の活動と思つて居たら美人の令孃が飛び出した戀々以て事件は混沌其のこんがらがつて行く處は讀み行く内に思はず自分も妙に其の内の人になつて仕舞相な心地がする私は毎朝貴紙の來るのを待ち兼ねて居ますから何うか必ず休まぬ様に願ます紫の覆面やローの活動寫眞よりも遥に面白い(待ち切れぬ生)▲新歸朝者よ日本座敷に於て骨董品を拜見する其の心もて脱靴せられて可なりさらば外人に對し何の恥かある營造物の設備乃至使用の程度は當局者の定むべき所其の當否は自ら別問題に屬す歐化即ち文明と思惟せし前世紀の洋行歸なら知らず新歸朝者と名乘らるゝ君がかゝる些事に『日本人の恥』だの『建築上の一大失態』だの『非文明なる博物館』などゝの給ふは新智識の程も見ゑ透きてお氣の毒の感あり實の處僕は新歸朝者の名に愛でゝ君を買冠りたり僕の言はむとする所は他に在るなり然もそは言ふだけ野暮なるべし要は公正に非ざれば憤を發せず是れ僕の名なりと御承知あらば幸甚なり(公憤生)◆美代二君とやら其麼に孤獨が淋しくてセンチメンタルな文字を並べる暇があつたら俳句でもやり給へ俳句は君が泣かされる様な總ての材料を詩的化して十七字に言ひ現はせばよいのだ而も君の如き境遇の至る所に俳味は漂うて居るに相違ない是非俳句を初め給へ嘗て君が泣かされた淋しき雨の夜はやがて君が獨り會心の笑を禁じ得ぬ程に愉快な夜に轉化するであらう(總角)

商況

大阪期米

	寄附	中限	先限
高値	二〇八	二一、八〇	二二、一八
安値	[illegible]	二一、八二	二二、一〇
止め	[illegible]	二一、七五	二二、〇九

▲京城新高値 [illegible]

錢と跳ね六十三錢引先二十圓二十錢と新高値の五錢高に寄付たるも利喰に新規に資物多く十五錢と押したるが押目は又新れに新規に賣物多く二十錢と跳ね返し十七錢と押して依然保合の裡に小堅き成行を示して散會

▲依然堅硬 雨の揚め一層りたる思はしめたる人氣も大阪の新富値を報じたると一面正米界は五月限[illegible]受取りたる玄米五千俵以力武納米所へ十八圓五十錢にて商賣行はれたりとの事にて同米は取引所[illegible]にて格付[illegible]

▲後場 中限⊖十九圓六十二錢⊖六十二錢五錢平均値六十二錢⊜六十錢三錢平均値六十一錢出來高五千六百石▲先限⊖二十圓二十錢十八錢七錢六錢五錢六錢七錢八錢七錢六錢七錢八錢九錢八錢⊜十八錢七錢六錢五錢[illegible]

場	高値	安値	出來高
中限	二十圓二十錢	二十圓十五錢	二萬六千九百五十石
先限	二十圓十七錢	[illegible]	[illegible]

●六甲山 慘劇犯人就縛 [illegible]

かつけ藥 神

◉脚氣患者無代送與◉

有名なる常陸國笠間稻荷を中心として日本中に無類唯一の脚氣奇藥あり只だ一服にても直ぐ驚く程効顯著しく從來難治せし脚氣患者さへも救はれ全治せし人多しハガキで照會あれば人助けの爲め藥法書を無代で郵送す

東京市本所區緑町公園内 笠間稻荷頒藥出張所

質 大口歡迎 京城黄金町長橋町入口 電話二九一六番 田村質店 商品擔保便利取扱

最新刊

書名	著者	定價
◉朝鮮語法及會話書	朝鮮總督府	一、三〇
◉怪傑縱横潜航記	メッケンツヒ手記	八五
◉青葉 若葉	薄田泣菫	五五
◉居自在身	薄田泣菫	四〇
◉最新化學工業一卷	三冊一時拂	一、五〇 / 分拂 一八〇
◉備としての教育	千葉命吉	一、六〇
◉教育學說の進化	中島半次郎	一、八〇
◉民衆藝術論	大杉榮	一、二〇
◉貿易上より見たる露西亞	松尾晉次郎	一、二〇
◉通俗花柳病學	羽田益吉	一、二〇
◉雄辯術	尾崎行雄	一、二〇
◉實踐國際辭林	小林鶯里	三、八〇
◉在朝鮮內地人紳士名鑑	朝鮮公論社	二、〇〇
◉野球年鑑	大阪朝日新聞社	四〇
◉琵琶名曲集	永田錦心	八〇
◉新舊對照朝鮮全道府郡面里洞名稱一覽		三、〇〇
◉支那の眞相	大河原隆光	一、七〇
◉西藏秘密喇嘛教大觀	石川宗三郎	二、五〇

京城本町一丁目 電話(二六八一) 振替京城二五七三番 大阪屋號書店

天下一品 白鶴 增本酒店 仁川本町三丁目 電話一〇九番

新案特許 耐水調革 朝鮮總代理店 仁川本町四丁目 白神洋行 新田帶革 京城南大門外 白神洋行支店 ハラダ調帶 (定價表申込次第送呈)

範模 牛乳 ニウソ 石鹸 洗粉 太正塚肥 京城蓬萊町四丁目 東亞牧場 電話二五番

中元暑中の御贈答品として

例年の通り今年も左の品々お選び願上候

家庭和互の交際を最も圓滑に致し候は、時々氣の利きたる進物を致すに限り申候、敢て金目の物を必要と致さず候も、成可く家庭全般に喜ばれ候樣の物を選び、殊に夏期暑中のお見舞には、それ／＼夏用ひて使ひ心地のよき優良品を選ばれ度く候

(最も信用厚き堀越の品)

家庭化粧料 **ホーカー液** 夏の日ヤケを防ぎ色白くなる(御男子にも御婦人にも)

新發見特製 **ホーカー白粉** 白さの異ふ、濃淡自由にノビ最もよき

最新美髪料 **ホーカー美髪液** 從來の水油でも煉油でもない優良品(御男子にも御婦人にも)

以上三品は特に夏期の衛生美容料として博士專門大家の推賞を受けたり

東京の美容術師、理髪師、髪結等專門家は、總て右三品を使用致し居り候

◉ホーカー化粧料定價表(送料內地無料、殖民地實費)

ホーカー液	小瓶(包裝)	二十錢	小瓶一打	(定價上に準ず)
	中瓶(桐箱入)	四十錢	中瓶六本入箱	
	大瓶(同)	八十錢	大瓶三本入箱	
ホーカー白粉	一瓶アーチ形箱入	金二十五錢	三本入	七十五錢
ホーカー美髪液	小瓶(アーチ箱入)	二十錢	各類三本以上進物箱有之候	
	大瓶(アーチ箱入)	卅五錢		
三品詰合進物箱	(ホーカー液 ホーカー白粉 ホーカー美髪液)	金一圓		

商品切手

上記の內、ホーカー液の中瓶大瓶は一本づゝ上等桐箱入と相成居候間、一本二本にても御進物として可笑からず。白粉美髪液は一個づゝアーチ形新箱入に付き、是亦體裁よろしく御座候

進物用として一圓以上幾程にても調製仕可く候

㊟進物用最寄の店に品切の際は振替又は三錢切手代用にて直接御注文願上候

ホーカー液 ホーカー白粉 ホーカー美髪液 ホーカースポート

東京神田和泉橋 本舖 堀越嘉太郎商店 電話神田特長二四三。長一四四。一四五 振替東京一一五六

阿波共同汽船仁川出帆

○芝罘、大連行 第十共同丸 七月 日午後入港 日前十時出帆 (關東都督府命令航路)

大連にて青島行定期船接續旅客貨物共通運送引受仕候

阿波共同汽船株式會社 本町四丁目(電話一七三番) 仁川代理店 野口商會 元山代理店 春日町(電話二四四七番) 田口回漕部 京城取次店 南大門(電話二六八、二〇一七) 河村運送店

汽船釜山出帆廣告

門司、神戸、大阪行 ○和歌浦丸 七月十二日後五時出帆 ○立神丸 七月廿三日後五時出帆

元山、清津、浦鹽行 ○立神丸 七月廿二日後十時出帆 ○和歌浦丸 七月十一日後四時出帆

元山、西湖、新浦、城津、清津行 ○第三琴平丸 月 日後六時出帆

門司、宇品、神戸、大阪行 ○第三琴平丸 月 日後六時出帆

佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 ○天眞丸 毎月二日九日十六日廿三日(四)午後十時出帆

本社釜山港埋立新町 取扱店 大池回漕部

日本郵船仁川出帆

○大連行、太沽(天津)牛莊行 相模丸 七月廿六日正午出帆 高砂丸 七月 日正午出帆 三河丸 七月十五日正午出帆

仁川海岸町十一丁目 電話 堀回漕部

尼崎汽船仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神阪行 ○君が代丸 七月十二日後四時出帆 ○有明丸 七月廿一日後四時出帆 ○秀吉丸 七月 日後四時出帆 ○神代丸 七月 日後四時出帆

仁川海岸通三丁目 電話五十九番 高杉回漕部

朝鮮郵船出帆

本社 電話長一九五二・一九三三番

鐵道院局及社外船と荷客連絡運送の便あり詳細は支店出張所代理店荷客取扱店に御照會願上候

京城南大門驛前 京城荷客取扱店 松原運送店 電話長一七〇番

○關門より釜山各地經由雄基行 但し×印あるは元山道寄港せず ×京畿丸 七月廿四日 ×忠淸丸 七月十四日 成鏡丸 七月十九日 柳川丸 七月九日 釜山發

○元山より各地經由雄基行 穩城丸 七月十一日 鏡城丸 七月十五日 三浦丸 七月九日 元山發

○浦潮行(元山より城津清津經由) 平壤丸 七月十四日 元山發

○元山長箭間 成鏡丸 七月 日 穩城丸 七月十九日 柳川丸 七月二十日 元山發

○釜山元山間 慶興丸 月 日 釜山發

○鬱陵島行浦項及各地經由 盈德丸 七月 日 釜山發

○浦項行(長生浦方魚津甘浦九龍浦經由) 江陵丸 襄陽丸 毎日 釜山發

○濟州島行長承浦麗水巨文島經由 昌平丸 七月十三日 釜山發

○麗水行(各地經由) 海州丸 統營丸 巨濟丸 毎日 釜山發

○木浦麗水間 ×印のみ麗水にて釜山行接續 ×順天丸 南陽丸 三日目毎に 木浦發

○木浦より濟州島行各島經由 西廻、公州丸 七月 日 東廻、慶興丸 七月十七日 木浦發

○木浦行(群山其他各地經由) 晋州丸 七月九日 麗水丸 七月十三日 仁川發

○多島海各島行 金海丸 七月十二日 木浦發

○鎭南浦行(海州其他各地經由) 宗信丸 七月十三日 仁川發

○海州行(江華島喬桐島經由) 全州丸 錦江丸 毎日 仁川發 但し三十一日は休航